令和７年度　各区地域自立支援協議会　部会活動状況一覧

資料３－４

令和８年３月末現在

区	本会		部会	
	全体会 協議会など	事務局会 運営会議など		
	開催回数	開催回数	部会名	開催回数
北	3	3	事業所交流会（連絡会）	5
都島	4	4	相談支援	12
			地域当事者	4
			事業所	6
			こども	12
福島	5	5	相談支援事業所	5
			グループホーム連絡会	5
			障がい児通所連絡会	0
此花	6	6	相談支援事業所	12
			居宅介護事業所	4
			こども	10
			相談員	3
			グループホーム	6
			日中事業所	6
中央	2	－	相談支援	4
			児童	2
			日中活動系	2
			就労系事業所連絡会	1
西	2	10	相談支援	12
			こども	3
			就労・日中活動	5
			グループホーム	5
港	4	1	相談支援	12
大正	6	6	相談支援	6
天王寺	6	5	相談支援	6
			日中活動系	3
			子ども	12
			地域活動	3
浪速	2	2	相談支援	12
			こども	5
			生活支援	6
			日中活動	12
西淀川	6	19	相談支援事業所	14
			こども	11
			放デイ連絡会	6
			生活・就労	6
			居宅支援事業所	4
			グループホーム	6
淀川	－	12	相談支援	11
			身体障がい者	5
			知的障がい者	7
			居宅介護事業所支援	3
			就労支援	11
			子ども支援	11
			精神保健福祉	12
東淀川	3	10	居宅介護事業所	9
			相談支援	12
			精神保健福祉	11
			こども	11
			就労支援	12
東成	3	4	相談支援	12
			事業所	4

区	本会		部会	
	全体会 協議会など	事務局会 運営会議など		
	開催回数	開催回数	部会名	開催回数
生野	4	4	相談支援	12
			主任相談専門	3
			個別事例検討	1
			グループホーム	8
			こども	10
旭	6	6	こども	3
			相談支援	6
			高齢・障がい	6
			日中支援	6
城東	2	2	相談支援	12
			地域活動	4
			児童	11
			就労	12
			地域生活	12
			居宅介護	2
			グループホーム交流会	4
鶴見	3	－	相談支援	12
			事業所	10
			児童	9
阿倍野	2	10	相談支援	6
			日中系	6
			ＡＫＳ（障がい児）	6
住之江	1	6	精神保健福祉ネットワーク	12
			就労支援	0
			相談支援	12
			子ども	6
			当事者	6
			いきがい	3
			相談支援事業者連絡会	12
			障がい関連事業所連絡会	0
住吉	1	12	相談支援	10
			日中活動支援	5
			グループホーム	5
			子ども	12
			精神ネットワーク	3
東住吉	3	12	相談支援	24
			子ども	7
			日中活動系連絡会	4
			居住系事業所連絡会	2
			当事者	1
平野	6	6	相談事業	12
			日中	5
			研修	1
			居宅事業	4
			当事者	12
西成	1	12	相談支援	12
			日中活動系事業所	6
			就労系事業所	12
			こども	6
			地域活動	6
			精神保健福祉連携	12

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

北 区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		本会	開催回数・頻度	3回	参加者数（１回あたり）	約１４名
参画機関	障がい福祉関係	地域活動支援センター、障がい者支援事業所、障がい児支援事業所	障がい当事者等	障がい者当事者、当事者家族	高齢福祉関係	北区医師会在宅医療・介護連携相談支援室
	子育て・教育関係		就労関係		保健・医療関係	北区医師会在宅医療・介護連携相談支援室
	地域団体・住民関係	身体障がい者相談員	その他	北区保健福祉センター(健康課)、北区障がい者基幹相談支援センター、北区社会福祉協議会		
検討課題・検討概要、取組内容		事業所交流会を通じて、障がい事業種別の枠組みを取り払い、より包括的かつ積極的に参画できる自立支援協議会に発展させ、地域課題の明らかにし、問題解決を図る。				
今後の課題や取組の方向性		協議会活動の活発化に向けて、令和７年度より事業所交流会を開催し、専門部会を代替する役割として、共通するテーマについて協議する運営方針に変更した。横断的なネットワークの構築や地域課題を共有することができたが、専門分野ごとの意見交換をより充実させ、現場の声を反映した協議会運営に繋げたいと考えている。				

B　運営会議等

名称	運営委員会	開催回数・頻度	3回	参加者数（１回あたり）	約８名
参加者	北区基幹相談支援センター、北区保健福祉センター（福祉課）、自立支援協議会委員				
機能・役割、取組内容	事業所交流会でのテーブルホストの意見、アンケート結果を踏まえ、テーマごとの意見交換された内容、地域課題を精査し、本会での議案検討を行う。				

C　部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
事業所交流会（連絡会）	定例会議	５回	障がい者支援事業所、障がい児支援事業所、自立支援協議会委員	約35名	北区における障がい福祉の地域課題を障がい者・児支援事業所全体で掘り起こし、縦割りのアプローチを超えて、より活発な議論を行う。	事業種別を超えた活発な意見交換が行えたが、地域課題を掘り起こす積極的な議論にまで至らなかった。

催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
きたまるしぇ	イベント	4月14～18日 7月7～11日 10月6～10日 12月1～5日	区民	未集計	作業所で製造した商品を販売し、障がい者自身が作成した商品が、目の前で売れることによるモチベーションの向上や、参加事業所が増えることによる他事業所との交流を図る。	参加事業所及び売上額が増えており、今後も継続して取り組みを行う。
防災講座	研修会	6月11日 11月27日	北区内障がい児支援事業所、障がい者支援事業所、障がい者当事者、当事者家族	約20名	災害時のシュミレーションゲームを広め、具体的な行動を促す。	BCP計画を作成することで、事業所利用者の命を守る行動、自覚 を促したい。
従事者研修会	研修会	11月6日	北区内障がい児支援事業所、障がい者支援事業所	約50名	支援者として、「一人ひとりの特性と優しく向き合うために」をテーマに研修を実施した。	研修テーマ、目的を検討し、より実践的な研修会を実施する。
北区民カーニバル出展	イベント	10月19日	区民	未集計	障がい者支援事業所の活動等の展示、相談窓口の開設	相談窓口の来場者が少なく、より相談し易い環境に改善し、今後も 継続して取り組みを行う。
メッセージライブ	イベント	12月３～９日	区民	未集計	障がい者週間に区民交流プラザで障がい者支援事業所の活動等の展示	一般の来場者数が伸び悩んでおり、啓発活動を推進する。

E　個別事例の検討状況

実施回数	0回	検討対象ケース数		参加事業者・機関数		抽出された地域課題	
取組状況							

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

都島 区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		全体会	開催回数・頻度	４回　　（３か月に１回）	参加者数（１回あたり）	１６名程度
参画機関	障がい福祉関係	都島区障がい者基幹相談支援センター：(あるる) 地域活動支援センター：(こころの相談室リーフ) 障がい福祉事業所：(とどまつ園、ワークセンターJIN、手琴堂、あじさい、ピースプラント)	障がい当事者等	身体障がい者相談員、知的障がい者相談員	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係		就労関係	大阪市北部障がい者就業・生活支援センター	保健・医療関係	区保健福祉センター(福祉担当・地域活動担当)
	地域団体・住民関係		その他	都島区社会福祉協議会		
検討課題・検討概要、取組内容		各部会での取り組みに重点を置き、全体会議では情報共有や意見交換を行った。 ・第１回2025/5　新年度委員紹介、個別避難計画、各部会の取組状況、各委員からの報告事項 ・第２回2025/8　区基幹センター運営評価、各部会の取組状況、各委員からの報告事項 ・第３回2025/11　各部会の取組状況、各委員からの報告事項、個別避難計画について ・第４回2026/2　各部会の取組状況、各委員からの報告事項、障がい者・高齢者虐待防止連絡会報告、精神保健福祉講演会報告				
今後の課題や取組の方向性		引き続き各部会での取り組みに重点を置き、全体会議では情報共有、課題の検討を行う。				

B　運営会議等

名称	運営会議	開催回数・頻度	４回　　（３か月に１回）	参加者数（１回あたり）	５名程度
参加者	委員長・各部会長(都島区障がい者基幹相談支援センターあるる、相談支援事業所あじさい、発達支援ルームピースプラント、就労継続支援B型事業所ワークセンターＪＩＮ)、都島区保健福祉センター保健福祉課				
機能・役割、取組内容	全体会議の前月に開催。各部会・委員からの報告の確認、協議会の運営について協議する。				

C　部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援部会	定例会議	12回	区内相談支援事業所、身障・知的相談員、障がい者就業・生活支援センターなど	２２名程度	相談支援事業所間の情報交換や事例検討、研修会など	事業所間のネットワークのみならず、他部会、地域包括支援センター、社会福祉協議会、他団体、区役所担当課等と連携し、ブラッシュアップするため事例検討、研修、情報共有を行っていく。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
地域当事者部会		４回	区内障がい福祉事務所、身障・知的相談員、障がい者団体、区社協など	１２名程度	障がい理解の啓発、「個別避難計画」、福祉教育プログラム、交通まちづくりについてなど	障がい種別を超えての交流の場を設け、地域の課題・良い所などの意見交換を行い、住み慣れた地域で安心して誰もが自立した生活が送れるように当事者の声を尊重した取り組みを行い、地域の方々とのつながりを大切にする。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		なかまとつながる地域の輪	イベント	11月15日	区民	118名	まごころ演奏会、ボッチャ体験、パネル展示など

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
事業所部会		６回	区内障がい福祉事業所	５名程度	区内障がいサービス事業所に向けた研修会や「社会資源フェスタ」の実施など	「若手も参加できる協議会」をコンセプトにイベントや研修を行う。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 都島区障がい児・者 福祉資源フェスタ	イベント	2月27日	区内障がいサービス福祉事業所	31名	障害年金についての勉強会と各サービスの代表　障がい福祉事業所が説明ブースを出し情報提供を行う。
		②「虐待研修～若手職員とディスカッションしよう」	研修会	8月27日	区内障がいサービス福祉事業所	32名	ファシリテーター：都島区地域自立支援協議会委員　ディーキャリアITEX辻本　崇
		③「支援学校と福祉は、どうつながれるのか～現場経験者と考える連携のヒント」	研修会	3月10日	区内障がいサービス福祉事業所	42名	こども部会と共同開催 講師：（株）大日　代表取締役　小早川　裕哉氏

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
こども部会		１２回	発達支援ルームピースプラントをはじめとする区内放課後デイサービス事業所など	３０名程度	課題共有、情報共有、事例検討、情報交換会、研修会など	部会の中でもチーム分けをし、委員の声が届きやすい体制とする。また、多種多様化している課題の中でも、成功事例も含め事例検討を行う。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		①「地域の小学校との情報交換会」	研修会	7月22日	区内小学校関係者	31名	区内小学校より校長先生、コーディネーターが参加した情報交換会

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
都島精神保健福祉講演会	その他	2月5日	区民	42人	区内精神科クリニックの院長による講演「こころの回復を考える　精神疾患からのリカバリー」	毎年(公社)大阪精神科診療所協会と自立支援協議会と保健福祉センターとが主催し実施している。
都島区通所施設施設照会冊子の更新	その他	その他	区民		区内障がい者・障がい児支援の通所施設の特色等を紹介する冊子を作成し、施設選択の一助として活用してもらう。	隔年ごとに、当該冊子と福祉サービス事業所の案内ＭＡＰを交互更新している。

E　個別事例の検討状況

実施回数		検討対象ケース数		参加事業者・機関数		抽出された地域課題	
取組状況							

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

福島 区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		福島区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	5 回　　（　　約２か月　に１回）	参加者数（１回あたり）	22名
参画機関	障がい福祉関係	区障がい者基幹相談支援センター、 地域生活支援センターふらっとめいじ、 すずらんの園、デーセンターモモの家、ワークはづき、 知的障がい者相談員・チャオネット、 区ホームヘルパー連絡会、	障がい当事者等	区身体障害者団体協議会・身体障がい者相談員	高齢福祉関係	区社会福祉協議会
	子育て・教育関係	－	就労関係	西部地域障がい者就業・生活支援センター	保健・医療関係	区医師会在宅医療・介護連携相談支援室 区保健福祉課（保健活動担当）
	地域団体・住民関係		その他			
検討課題・検討概要、取組内容		・障がい者・高齢者への安全・安心のまちづくりの取り組み ・障がい者への理解を深めてもらう取り組み				
今後の課題や取組の方向性		活動方針並びに事業計画を示して実行し、協議会において、振り返りと今後の課題を抽出。				

B　運営会議等

名称	福島区地域自立支援協議会運営委員会	開催回数・頻度	5 回　　（　　約２か月　に１回）	参加者数（１回あたり）	8名
参加者	区障がい者基幹相談支援センター、すずらんの園、区社会福祉協議会、区保健福祉課（地域福祉）				
機能・役割、取組内容	区地域自立支援協議会の運営と議事の進行を円滑に進めるための事前調整				

C　部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援事業所部会	定例会議	5回	区内及び近隣区の指定相談支援事業所 地域活動支援センター（生活支援型） 区障がい者基幹相談支援センター	6名	制度理解の促進 相談支援事業所間の連携	相談支援事業者及び相談支援専門員の不足 相談支援専門員の質の向上

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
催事等	① 福島区障がい者基幹相談支援センター主催研修（相談支援事業所部会共催）	研修会	2月19日	障がい児・者サービス事業者	19名	支援のコミュニケーションとセルフケア 講師：國司　翔子氏（株ﾎﾘｽﾃｨｯｸｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ臨床心理士・公認心理士））
	②					

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
グループホーム連絡会	定例会議	5回	区内のグループホーム運営法人 区障がい者基幹相談支援センター	4名	グループホーム運営法人間の連携	情報共有・運営・利用者対応等について協議していく。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
グループホーム連絡会							

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
障がい児通所連絡会	定例会議	0回	区内の障がい児通所支援事業所 区障がい者基幹相談支援センター		障がい児通所支援事業所間の連携 療育相談会の開催	従事者の質の向上

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
障がい児通所連絡会							

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
高齢者・障がい児/者 なんでも相談会「ちえのわ ふくしま」	相談会	毎月第4金曜日（祝日除く）	区内在住・在勤の方		・協議会主催で区役所1階ロビーに相談ブースを設置し、区障がい者基幹相談支援センター、区社協、社会福祉士、行政書士が相談に対応	次年度も月1回定例的に高齢と障がいの複合的な相談にも対応できる体制での相談会を開催する。
福島区障がい児・者 スポーツ・レクリエーションひろば	イベント	R7.8.7	障がいのある方とその家族・友人・介助者等	50名	・障がい者向けスポーツやレクリエーションを楽しみ、コミュニケーションを図る	次年度の継続して開催する。児の参加を募るため、開催時期を検討する。
「人権啓発推進協議会事業 夏休みヒューマンシアター」（啓発活動）	イベント	R7.8.23	ヒューマンシアター来場者	207名	・障がい者福祉事業所（6事業所）による展示販売会 ・パンフレット配布	次年度も区人権啓発推進協議会と連携を取って開催する。
区民まつりでの啓発活動	イベント	R7.10.4	区民まつり来場者	300名	・障がいへの理解促進に関する啓発ブース（障がいアート作品展、紙芝居、啓発物品の配布）	次年度も継続して出店する。
「福島区健康展」（ボッチャ体験会）	イベント	R7.10.18	健康展来場者	50名	・障がい者福祉事業所（6事業所）による展示販売会 ・ボッチャ体験会の開催	次年度も健康展と連携を取って実施する。
障がい者週間の取り組み	その他	R7.12.3～ R7.12.9	区内在住・在勤の方 区役所来庁者		・区役所横に幟の設置 ・区役所1階にブースを開設し、障がい児/者への理解を深めていただくために、作品展示や啓発活動を実施 ・区広報誌で特集ページを作成	次年度も継続して広報する。

あいサポート研修	研修会	R7.12.9	区内在住・在勤の方	5名	・協議会主催で、障がいのある方への手助けや配慮のヒントを学ぶ研修と障がい体験を実施	次年度も継続して開催する。研修内容については協議会で検討する。
「人権啓発推進協議会事業春のヒューマンシアター」(啓発活動)	イベント	R8.3.28	ヒューマンシアター来場者	287名	・障がい者福祉事業所(７事業所)による展示販売会	今後も区人権啓発推進協議会と連携を取って開催する。

E　個別事例の検討状況

実施回数	3回	検討対象ケース数	1件	参加事業者・機関数	5件	抽出された地域課題	個別事例の検討のみで地域課題の抽出はなし
取組状況							

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

此花区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		此花区地域自立支援協議会全体会	開催回数・頻度	６回　　（奇数月の第２水曜日に開催）	参加者数（１回あたり）	29名
参画機関	障がい福祉関係	「ぷるうむ此花」（生活介護）、「大阪市立此花作業指導所」（就労移行支援等）、「就労クリエイターHOPE」（就労継続支援A型）、「はばたく」（日中事業所部会代表）、「nico」（居宅介護事業所部会代表）、「おりーぶ庵」（グループホーム部会代表）、「デイ・サポート アイリー」（子ども部会代表）	障がい当事者等	身体障がい者相談員 知的障がい者相談員	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係		就労関係	障がい者就業・生活支援センター「西部地域障害者就業・生活支援センター」 「障害者共働学舎　働楽」（作業所連絡会代表）	保健・医療関係	
	地域団体・住民関係	「此花区民生委員児童委員協議会」（障がい者委員会委員長）	その他	相談支援事業所「此花区障がい者基幹相談支援センター」、　区社会福祉協議会「此花区社会福祉協議会」 障がい者スポーツセンター「大阪市舞洲障がい者スポーツセンター」　生活困窮関係機関「自立支援センター舞洲」「此花区自立相談窓口」、区保健福祉センター（課長、課長代理、担当者、精神保健福祉相談員等）		
検討課題・検討概要、取組内容		・各部会の活動報告　・地域との連携について ・区障がい者基幹相談支援センターの活動報告 ・障害者スポーツ進行の取り組み（風船バレー）について ・各委員からの報告、案内、情報提供、意見交換				
今後の課題や取組の方向性		・障がいのある方とその家族が地域の中で安心して生活ができるよう、此花区内の資源の開発や支援体制・環境の整備について検討していく。 ・地域生活支援拠点等の機能を担う障がい福祉サービス事業所の登録について、此花区ではどのように進めていくのかを検討していく。 ・障がいの理解や支援を深める研修会の開催や「障害者差別解消法」「障害者虐待防止法」の周知啓発の実施。 ・各部会を超えて共通の課題やテーマに合わせて、イベントや研修会を企画、実施していく。				

B　運営会議等

名称	此花区地域自立支援協議会運営会議	開催回数・頻度	６回　　（偶数月の第２水曜日に開催）	参加者数（１回あたり）	８名
参加者	・此花区障がい者基幹相談支援センター　・居宅介護事業所部会代表「nico」　・相談員部会代表（区身体障がい者連合会長代行）　・こども部会代表「デイ・サポート アイリー」　・グループホーム部会代表「おりーぶ庵」　・日中事業所部会代表「はばたく」 ・区社会福祉協議会　・区保健福祉センター（担当者等）				
機能・役割、取組内容	・各部会内だけではなく、部会を超えて共通の課題をテーマに研修や勉強会、イベントなど開催できるように、企画・検討する。 ・全体会にて提案ができるように、各部会での情報を集約し、具体化していく。				

C　部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援事業所部会	定例会議	12回（毎月第3木曜日開催）	・此花区障がい者基幹相談支援センター ・障がい者相談支援事業所（他区応援を含む） 此花区　「葵」「れもん」「YOU-ねっと」「こころ此花」「未来のカタチ」「ソーシャルラボ」「フェリーチェ」「ファミリーハウス」 港区　「みらい」「なみいち」「リスン」 西淀川区　「げんきな郷」「どんぐり」「Ponole'a」「夢ごこち」「こうのとり」「ケアステーションキキ～聴～」「smile For You」 ・福島区「ボルスリー」「伽穏プランニング」 ・淀川区　「じぇむ」 ・西区「いぶき」 ・大正区「ippo」 ・地域活動支援センター「ふらっとめいじ」 ・その他障がい者相談支援事業所（随時） ・区保健福祉センター（担当者、精神相談員）	20	・各種意見交換 ・各事業所の状況報告 ・区及び区障がい者基幹相談支援センターからの情報提供 ・指定特定相談支援事業者の選定	・各事業所での困難事例・困りごとについての意見交換 ・相談支援の質向上に向けた勉強会等の開催 ・事例検討 ・此花区内の相談支援事業所が少なく、相談員も少ないため、新規相談支援事業所の立ち上げや新しい相談員の育成に力を入れる。また、1人相談支援事業所が多いため、部会内で困りごとやケース検討を取り入れ、後方支援していく。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 防災研修	研修会	2月19日	相談支援専門員	18	此花区の地理的特徴について知り、災害時の対応に役立てる。 マイ・タイムラインの活用について知る。

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
居宅介護事業所部会	定例会議	4回 （3ヶ月に1回第2火曜日開催）	・此花区障がい者基幹相談支援センター ・此花区内の居宅介護事業所（30事業所） 「晴れたよ、歩こう」「nico」「ライムケアセンター」「ぱすてる」「港ケアステーション」「クラウン」「さくら」「クオレ千鳥橋」「ケア２１」「まごころ」「葵」「成徳」「アクティブ」「なでしこ」「ふるさと」「こころ」「暁明館訪問ヘルプ」「金の鈴」「イーケア」「ニチイ」「おりーぶの木」「ファミリーケアーサービス」「ささゆり」「健」「ファミリーハウス」「はるねケア」「R」「恵」「メロディヘルプ」「真心」 ・西淀川区内の居宅介護事業所（2事業所） 「こうのとり」「ケアステーションキキ～聴～」 ・区保健福祉センター（担当者、精神相談員）	15	・実施指導についての説明等 ・区及び区障がい者基幹相談支援センターからの情報提供	・各種勉強会 ・事例検討 ・各事業所の情報交換 ・他職種連携について(訪看、ケアマネ、GHや日中事業所など他職種職員との意見交換会を実施したい)

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 防災研修	研修会	9月9日	此花区内の居宅介護事業所職員	17	此花区役所防災担当者を講師に招き過去の災害から防災について学ぶ。クロスロードゲームの実施。
		② 事業所見学	研修会	12月9日	此花区内の居宅介護事業所職員	9	就労継続支援Ａ型事業所、Ｂ型事業所の見学を行い、障がいのある方の就労について理解を深めるとともに、日中活動先との連携を強化する。

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
こども部会	定例会議	10回 （8月・12月を除く毎月第3水曜日開催）	・此花区障がい者基幹相談支援センター ・此花区内の障がい児通所施設事業所（１７事業所） 「アイリー」「アロ此花」「うーるー伝法」「あをん千鳥橋」「スマイルこのはな」「スタディスマイル」「Ami」「はのはの」「あおぞら」「学童りずむ」「ひまわり西九条」「リタリコジュニア此花教室」「スタディスマイルきっず」「カンガルーのポッケ」「あずき」「nico」「ひまわり梅香」 ・出来島支援学校 ・区保健福祉センター（担当者）	15	・ケース事例の相談、議論、意見交換 ・各事業所の状況報告 ・区及び区障がい者基幹相談支援センターからの情報提供 ・各種研修・座談会・イベント 「小学校就学いろいろ座談会～先輩ママのお話聞いてみよう～」 防災研修 わいわいひろば	・区内保育所、幼稚園、子ども子育てプラザとの連携 ・事例検討会 ・現場で活かせる職員が学びたい研修の継続 ・保護者からの相談対応の共有・事例検討の検討 ・就学前相談を提供し、保護者の不安や疑問を解消できる場を提供。中学校や高校への進学に不安を持つ保護者も多いことから、進学だけではなく、仕事やお金、生活の場など枠を超えて障がいをもったこどもの未来を考えるイベントを検討。 ・イベントのわいわいひろばについて今後も開催する。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 小学校就学いろいろ座談会 ～先輩ママのお話聞いてみよう～	相談会	R7.5.14	小学校就学選びに悩む区内の障がい児の保護者	39	座談会形式で、先輩ママさんの経験を聞き、小学校就学先選びに悩む保護者さんたちと情報共有することで今後の見通しを立てていく。
		② 防災研修	研修会	R7.10.15	此花区内の障がい児通所施設事業所及び障がい児相談支援事業所のスタッフ	42	災害時に私たちはどうなるのか、何ができるのか。普段から何を考えて準備しておくべきなのかをグループワークを通じて考える。
		③ わいわいひろば	イベント	R8.3.14	此花区内の障がい児通所施設事業所及び障がい児相談支援事業所のスタッフ、利用者とその家族	90	レクリエーションイベントとしてのミニ運動会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談員部会	定例会議	３回 （4か月毎（6月・10月・2月）の第1金曜日開催）	・此花区障がい者基幹相談支援センター ・此花区身体障がい者相談員（4名） ・此花区知的障がい者相談員（１名） ・区保健福祉センター（担当者）	8	・区及び区障がい者基幹相談支援センターからの情報提供 ・施設見学会 ・区内啓発活動 ・学習会	・身体障がい者相談員と知的障がい者相談員の意見交換 ・相談員の活動についての周知 ・合理的配慮とは何かをテーマに今後の相談員活動に活かすために開催

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① ・施設見学会（すみでんフレンド株式会社）	その他	R7.10.14	・此花区障がい者基幹相談支援センター ・此花区身体障がい者相談員 ・此花区知的障がい者相談員 ・区保健福祉センター（担当者）	9	特例子会社を見学することにより今後の相談員活動の参考にする
		② 障がい者週間における街頭啓発活動	その他	R7.12.8	此花区民	15	障がい者週間に此花区身体障がい者連合会の協力もと、区民のみなさんに広く障がい者福祉についての関心と理解を深めていただくことを目的に商店街前にて啓発活動を実施

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
グループホーム部会	定例会議	６回 （偶数月の第3水曜日開催）	・此花区障がい者基幹相談支援センター ・此花区内のグループホーム事業所（12事業所） 「ちどり」「おりーぶ庵」「どんぐり」「コアの森」「晴れたらいいなあ」「グループホームｎｉｃｏ」「エソラ此花」「hana」「なな此花」「生活ハウスキズキ」「げんきな郷」「ViVid　house」 ・区保健福祉センター（担当者）	17	・各グループホームへの見学及び意見交換 ・グループホーム部会として風船バレーへの参加 ・グループホーム部会として防災シュミレーションの実施 ・区及び区障がい基幹相談支援センターからの情報提供 ・各グループホームの空き状況の定期的な報告	・各グループホーム見学会を通して現状についての情報交換及び共通する課題について理解する ・今年度も防災シュミレーションを実施 ・意思決定支援の勉強会等の検討 ・風船バレー交流会の実施

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 意思決定支援勉強会	研修会	R7..11.26	此花区内のグループホーム事業所	44	福祉の現場における意思決定支援と虐待防止制度について、支援に引き寄せて考える。
		② まちなか被災シュミレーション	その他	R7.10.19	此花区内のグループホーム事業所	30	避難ルートの確認や安全対策を考えて行動してもらうとともに、日中に被災した場合の日中活動先との連携をどうするか考える。

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
日中事業所部会	定例会議	６回 （奇数月の第３金曜日開催）	・此花区障がい者基幹相談支援センター ・此花区内の日中活動事業所（１７事業所） 「コアの園」「コアの仲間たち」「（株）舞洲フェルム」「大阪市立此花作業指導所」「はばたく」「ぷるうむ此花」「働楽」「ＨＯＰＥ」「あめでもくもりでもはれたね」「チャコールワークス」「釣具製作向上委員会」「みんなのおしごと西九条」「彩り作業所」「こころ」「トリプルジャンプ」「ONE」「といろ梅花」 ・出来島支援学校 ・区保健福祉センター（担当者）	15	・日中事業所部会の活動内容について ・情報交換等 ・此花区役所庁舎内における物販の実施 ・意思決定支援研修について	・区内の日中事業所相互の情報共有と連携を図る。 ・参加事業所の形態が違う為、、なかなか全員が集まりにくい。また、参加事業所数も昨年度に比べ増加しており、今後、部会の運営方法についても検討する必要がある。 ・区役所で事業所の製品を販売するようになってきているので、今後も継続して販売できるように取り組む。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 区役所庁舎内での物品販売	イベント	R7.6.27 R7.12.5	区役所に来庁した区民及び区役所職員等	昇陽高校及び２事業所	昇陽高校作成のクッキーと事業所の授産製品の販売
		② 意思決定支援研修会	研修会	R8.1.16	此花区内の日中活動事業所	30	権利擁護の視点から講師を招き、グループワークで意見交換や相互交流を目的に開催

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
未来の話展	イベント	R7.6.28	此花区在住で障がい福祉サービスの利用を検討している子どもとその保護者	80	子どもたちとその保護者が、将来利用可能な地域の社会資源について理解し、安心して成長できるようにすることを目的にパネル展示や座談会、相談コーナーのブースを設けて開催	来年度以降も定期的に実施し、進路選択に役立ててもらうとともに、18歳以降の生活についてイメージが持てるようにする。周知について課題があったため、来年度は早めに動いていく。
風船バレー	イベント	年20回（毎月１～２回日曜日開催）	区内在住の障がい者と支援している方	50	障がい者スポーツの推進と障がいのある方の居場所づくり	障がい者スポーツを通じて、障がいや障がい者への理解を広め、地域とのつながりを模索するきっかけのひとつとする。また参加者の居場所づくりや目標・目的の創造、生活への意識向上等に寄与することを目的に障がいのある人もない人も共に楽しめるスポーツとして行う。

E　個別事例の検討状況

実施回数		検討対象ケース数		参加事業者・機関数		抽出された地域課題	
取組状況							

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

中央　区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		中央区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	2　回　（令和７年５月、令和８年３月に各１回、計２回）	参加者数（１回あたり）	令和７年５月→17名、令和８年３月→17名
参画機関	障がい福祉関係	区障がい者基幹相談支援センター	障がい当事者等	大阪ろうあ会館、身体障がい者相談員	高齢福祉関係	区保健福祉課職員（高齢・障がい者虐待担当）
	子育て・教育関係	相談支援センター　アリスファイン	就労関係	市障がい者就業・生活支援センター、特定非営利活動法人　ひこうせん	保健・医療関係	区保健福祉課職員（精神保健福祉相談員）
	地域団体・住民関係	区社協、地域生活支援センター すいすい	その他	知的障がい者相談員		
検討課題・検討概要、取組内容		・令和７年５月　→　令和７・８年度中央区地域自立支援協議会の委員について確認、区基幹相談支援センターの運営評価について審議 ・令和８年３月　→　令和７年度の活動報告、令和８年度の開催計画について審議、令和８年度中央区地域自立支援協議会委員の補充・増員について審議				
今後の課題や取組の方向性		障がい児相談支援を利用している方々には、18歳到達以降のサービス利用について相談支援専門員から適切なタイミングで情報提供が一定されていると考えているが、セルフプラン利用者への周知するタイミングは限定的（15歳以降の更新申請勧奨の際）であり、より効果的な周知について検討してまいりたい。				

B　運営会議等

名称		開催回数・頻度	回　（　に１回）	参加者数（１回あたり）
参加者	開催なし			
機能・役割、取組内容				

C　部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援部会	定例会議	4回	区内相談支援事業所	13～22名	事例検討、情報交換	事業所がより意見・相談しやすい環境となるよう引き続き努めてまいりたい。

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
催事等						

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
児童部会		2回	区内児発・放デイ事業所、相談支援事業所	41、54名	利用者向け児発および放デイ事業所一覧表の更新について、情報交換、外部講師による勉強会	事業所がより意見・相談しやすい環境となるよう引き続き努めてまいりたい。

催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
日中活動系部会		2回	区内日中活動系事業所	17、22名	情報交換、グループワーク、地域生活支援拠点等の機能を担う事業所の登録について（事業者による説明）	事業所がより意見・相談しやすい環境となるよう引き続き努めてまいりたい。

催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
就労系事業所連絡会		1回	区内就労系事業所	69名	各事業者の自己紹介、当該連絡会の今後の進め方について、情報交換	各事業者からの意見、要望を取り入れつつ、本連絡会の更なる充実につなげてまいりたい。

催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
全体研修会	研修会	R8.1.26	区内全障がい福祉サービス事業所、自立支援協議会委員	89名	【講義】障がい者虐待防止について	各事業者からの意見、要望を取り入れつつ、今後もより充実した研修が開催できるよう努めてまいりたい。

E　個別事例の検討状況

実施回数	3回	検討対象ケース数	3件	参加事業者・機関数	13～22名	抽出された地域課題	18歳移行問題（円滑な移行にむけての手続き勧奨や情報提供）
取組状況	「みんなの声を聴く事例検討会」と題した事例検討会を開催した。検討会では区内の相談支援専門員から提供された事例について他の相談員を交えてセッションする。解決策を導き出すのではなく、「気づき」を得てもらうことを主な目的としている。また、他の相談支援専門員の持っている経験や持っている「引き出し」を皆で共有することで、事例提供者のみならず参加者全体のスキルアップにつながっている。						

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

西区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		西区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	２回　　（６月、２月に開催）	参加者数（１回あたり）	14名
参画機関	障がい福祉関係	西区障がい者基幹相談支援センター（2名）、障害者相談支援センター（1名）、グループホーム部会（1名）、地域活動支援センター（1名）	障がい当事者等	西区身体障害者団体協議会（1名） 西区障がい者・児ネットワーク　「そよかぜ」（1名）	高齢福祉関係	なし
	子育て・教育関係	こども部会（1名）	就労関係	就労・日中部会（1名） 地域障がい者就業・生活支援センター（1名）	保健・医療関係	なし
	地域団体・住民関係	西区社会福祉協議会（1名）	その他	区保健福祉センター（3名）		
検討課題・検討概要、取組内容		（第１回）　・委員紹介　　・西区地域自立支援協議会について　　・令和７年度西区地域自立支援協議会活動計画（案）について　　・西区障がい者基幹相談支援センターの運営評価について （第２回）　・令和７年度西区地域自立支援協議会活動報告について				
今後の課題や取組の方向性		引き続き、障がい者福祉に関する事項の中核的な協議の場として、 困難事例への対応についての協議調整に関することや地域の関係機関によるネットワーク構築に関すること、 地域の社会資源の活用及び改善の検討に関すること、 委託相談支援事業者の運営評価に関すること、地域福祉活動に関すること、 障がい者若しくは障がい児の自立と社会参加に関すること、その他、地域の相談支援体制の充実に必要とされる事項の検討に関することに取り組んでいく。				

B　運営会議等

名称	西区地域自立支援協議会（事務局会議）	開催回数・頻度	10 回　（西区地域自立支援協議会開催月を除く毎月1回開催）	参加者数（１回あたり）	9名程度
参加者	西区障がい者基幹相談支援センター、障害者相談支援センター、グループホーム部会、地域活動支援センター、こども部会、就労・日中部会、区保健福祉センター等				
機能・役割、取組内容	地域の情報や課題の集約・分析、地域の実務課題について協議・検討、事業者向け研修会や区民などに向けた講演会の実施				

C　部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援部会	定例会議	12	西区内の委託及び指定相談支援事業所、西区保健福祉センター	20名程度	西区内の指定相談事業の実施状況把握、相談支援におけるスキルアップ研修、情勢・制度に関する情報共有、事業所選定、他事業との連携に向けた取り組み	引き続き、地域における相談支援事業所の発展および質の向上を図るとともに、地域課題の抽出や課題解決のための協議の場として開催していく。

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
催事等	① 勉強会「障がい年金について」	研修会	8月25日	部会参加者	18	障がい年金にかかる勉強会
	② 相談支援業務にかかる事例検討	事例検討	10月27日	部会参加者	15	相談支援業務についての意見交換

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
こども部会	定例会議	3	西区内の児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、医療型児童発達支援事業所、保育所等訪問支援、障がい児相談支援事業所、居宅訪問型児童発達支援事業所、西区障がい者基幹相談支援センター、西区保健福祉センター	30名程度	情勢・制度に関する情報の共有、サービス向上に資する研修会の実施、各事業所の取り組みおよび事例等の報告、西区内の社会資源有効利用および連携に向けた取り組み	引き続き、西区に住む障がいのある子ども及びその家族が、地域で安心して暮らすことが出来るよう、地域における児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所の発展および質の向上を図るとともに、地域課題の抽出や課題解決のための協議の場として開催していく。

		名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	① グループワーク「防災・図上訓練」	その他	6月24日	部会参加者	29	防災にかかる図上訓練、グループワークの実施
		② 講義「行動上の問題と理解と対応」	研修会	12月9日	部会参加者	26	行動上の問題と理解と対応について、講義・グループワークの実施

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
就労・日中活動部会	定例会議	5	西区内の就労移行支援事業所、就労継続A型支援事業所、就労継続B型支援事業所、生活介護、地域活動支援事業所、西区障がい者基幹相談支援センター、西区保健福祉センター	30名程度	情勢・制度に関する情報の共有、サービス向上に資する研修会の実施、各事業所の取り組みおよび事例等の報告、西区内の社会資源有効利用および連携に向けた取り組み	引き続き、西区の事業所で就労訓練、または介護や生産活動、レクリエーション等を提供される障がいのある方が、安心してサービスを利用することが出来るよう、地域における就労及び日中活動系の事業所の発展および質の向上を図るとともに、地域課題の抽出や課題解決のための協議の場として開催していく。

		名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	① グループワーク「事例を通して考える多職種連携について」	その他	7月25日	部会参加者	24	事例を通して考える多職種連携についてのグループワーク
		② ワークショップ「障がいを楽しく知るコミュニケーションゲーム『こまった課？』	その他	1月16日	部会参加者	30	「障がいを楽しく知るコミュニケーションゲーム『こまった課？』と題したワークショップ

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
グループホーム部会	定例会議	5	西区内の共同生活援助事業所、西区障がい者基幹相談支援センター、西区保健福祉センター	10名程度	情勢・制度に関する情報の共有、サービス向上に資する研修会の実施、各事業所の取り組みおよび事例等の報告、西区内の社会資源有効利用および連携に向けた取り組み	西区のグループホームで暮らす障がいのある方が、地域で安心して希望する暮らしが出来るよう、地域におけるグループホームの発展および質の向上を図るとともに、地域課題の抽出や課題解決のための協議の場として開催していく。

		名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	① 図上防災訓練	その他	5月16日	部会参加者	13	図上防災訓練の実施
		② 事例検討：片付けられない利用者の支援について考える	事例検討	1月16日	部会参加者	10	「片付けられない利用者の支援について考える」と題した事例検討

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
運営会議（コニュニケーションボード配付ワーキング）	その他	6月16日 ほか6回	放課後等デイサービス事業所、相談支援事業所、基幹相談支援センターほか	6名程度	聴覚障がい者や会話によるコミュニケーションが困難な障がい者等が、医療機関でコミュニケーションを取るツールとしてのコミュニケーションボードの作成	医療用コミュニケーション支援ボードの内容・配置・イラスト等

E　個別事例の検討状況

実施回数	2回	検討対象ケース数	2件	参加事業者・機関数	15程度	抽出された地域課題	寝たきり障がい者の性的な要求への対応について、親亡き後、金銭管理が困難な障がい者への対応について
取組状況	事業所間での意見交換。具体的な解決に至らないまでも、様々なアイデアが共有されている。						

F　備考

なし

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

港区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		港区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	４回　　（３～４か月に１回）	参加者数（１回あたり）	13名
参画機関	障がい福祉関係	港区障がい者基幹相談支援センター 港区障がい者施設連絡会 地域生活支援センターふらっとめいじ	障がい当事者等	港区身体障がい者団体協議会 保護者等	高齢福祉関係	なし
	子育て・教育関係	大阪市発達総合療育センターあさしお園・ゆうなぎ園	就労関係	西部地域障がい者・生活支援センター	保健・医療関係	なし
	地域団体・住民関係	港区社会福祉協議会	その他			
検討課題・検討概要、取組内容		研修会についての検討、大阪市への要望についての取りまとめ　区民まつりやふれあい福祉のひろばなど広報活動への参画の検討				
今後の課題や取組の方向性		区の課題抽出、区の施策・市の施策として取り組むべき内容についての協議、部会・連絡会のあり方についての協議、研修の充実に取り組む				

B　運営会議等

名称	港区自立支援協議会運営会議	開催回数・頻度	１回　　（１年に１回）	参加者数（１回あたり）	5名
参加者	港区障がい者基幹相談支援センター　港区障がい者施設連絡会　地域生活支援センターふらっとめいじ　西部地域障がい者・生活支援センター				
機能・役割、取組内容	年間方針の策定				

C　部会

名称								
相談支援部会	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性		
		12回	相談支援事業所	約30名	相談支援事業所の選定、研修	研修の充実		
	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）	
		①「介護保険への移行について」	研修会	9月17日	相談支援員、ケアマネージャー	約60名	介護保険へのスムーズな移行について意見交換	
		②「交流をメインに顔の見える関係づくり」	研修会	2月19日	相談支援員、ヘルパー	約20名	ヘルパーと相談支援員の関係づくり	

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
児童系支援事業所連絡会	その他	5月27日	児童系支援事業所	約20名	子育てマップの策定	継続の方向
児童系支援事業所連絡会	研修会	9月16日	児童系支援事業所	約20名	児童虐待の現状とその対応についての研修	継続の方向
児童系支援事業所連絡会	研修会	1月27日	児童系支援事業所	約20名	自立支援協議会とは何か	継続の方向
ヘルパー連絡会	その他	7月17日	ヘルパー事業所	4名	今年度の開催計画について	方向性を検討

E　個別事例の検討状況

実施回数	0回	検討対象ケース数		参加事業者・機関数		抽出された地域課題	
取組状況							

F　備考

年３回、自立支援協議会が主催で実施する研修会あり。

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

大正区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		大正区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	年6回　　（　２ヶ月　に１回）	参加者数（１回あたり）	10名前後
参画機関	障がい福祉関係	支援センターねぎぼうず、大正わかば家族会、障がい者支援施設ふくろうの杜、障がい者支援施設北村園、地域活動支援センターふれあいの里、　大正共同作業所、グループホームことのは	障がい当事者等	大正区身体障害者団体協議会	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係		就労関係	大阪市西部地域障がい者就業・生活支援センター	保健・医療関係	
	地域団体・住民関係		その他	社会福祉法人大正区社会福祉協議会		
検討課題・検討概要、取組内容		基幹相談支援センターの運営評価、防災の取組みについて、事業所との意見交換会、研修会、事例検討等				
今後の課題や取組の方向性		区内の障がい福祉関連の事業所を招いての意見交換会や、他区の自立支援協議会と共催で研修会を行う事により、区内障がい者支援関係事業所の知識等含むスキルレベルのアップや事業所間の繋がりを今以上に深めていく。				

B　運営会議等

名称	大正区地域自立支援協議会　運営会議	開催回数・頻度	年6回　　（２ヶ月に１回）	参加者数（１回あたり）	１０名前後
参加者	議長、メンバー、事務局				
機能・役割、取組内容	区地域自立支援協議会での実施内容を検討し、提案していく議論の場				

C　部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援部会	定例会議	年6回	区内を中心とした相談支援事業所	15名前後	報酬改定、国の動向等情報共有や意見交換等	1年を通して出席が無い事業所が複数あるため、関係性を深める事が難しい

催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
障がいのある方のための相談会	研修会	毎月第3月曜日	障がい者とその家族、事業所含む支援者	4	午後１時～3時まで内容を限定せず区役所の会議室で開催	利用者増を目指した開催手法や周知方法の検討

E　個別事例の検討状況

実施回数	1回	検討対象ケース数	1件	参加事業者・機関数	10件	抽出された地域課題	基幹相談支援センターの認知不足
取組状況	広報紙等での周知回数の増、障がい者手帳交付時に区所億員より紹介等を検討中						

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

天王寺区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		天王寺区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	６回　　（２カ月に１回）	参加者数（１回あたり）	約20名
参画機関	障がい福祉関係	天王寺区障がい者基幹相談支援センター・ムーブメント 相談支援事業所Peace Heart 就労継続支援B型むつみ工房 高津学園障がい者支援施設　知恩寮 ネクストステージ　エイブル はぴねすと 大阪赤十字病院附属大手前整肢学園 児童デイサービス　アップル 相談支援事業所クローバーホーム 相談支援事業所うえろくケアプランセンター ワークセンター中授 障害者支援施設アテナ平和	障がい当事者等	天王寺区身体障がい者相談員 天王寺区身体障害者団体協議会 天王寺区知的障がい者相談員	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係		就労関係	大阪市障がい者就業・生活支援センター	保健・医療関係	
	地域団体・住民関係	天王寺区社会福祉協議会	その他			
検討課題・検討概要、取組内容		・困難事例への対応についての協議調整 ・地域の関係機関によるネットワーク構築 ・地域の社会資源の活用及び改善の検討				
今後の課題や取組の方向性		協議会と運営委員会の役割を明確にし、より円滑な運営を行う。				

B　運営会議等

名称	天王寺区地域自立支援協議会運営委員会	開催回数・頻度	５回　　（２カ月に１回）	参加者数（１回あたり）	約15名
参加者	天王寺区障がい者基幹相談支援センター、むつみ工房、ネクストステージエイブル、はぴねすと、天王寺区社会福祉協議会、大阪市障がい者就業・生活支援センター、アテナ平和、				
機能・役割、取組内容	・活動計画の策定、協議会の運営。 ・部会活動や各取り組みについての調整や集約等。				

C　部会

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援部会		6回	天王寺区基幹相談支援センター 区内の計画相談支援事業所	約２０名	相談支援体制の強化と事例検討、制度及びその他情報の共有化	開催回数の増加、事業所間の連携強化

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
相談支援部会		① 事例検討	事例検討	5月21日	区内相談支援事業所	約20名	事例検討
		② 学習会「発達障がいについて」	研修会	7月16日	区内相談支援事業所	約20名	講師：エルムおおさか
		③ 事例検討	事例検討	9月17日	区内相談支援事業所	約20名	事例検討
		④ 学習会「高次脳機能障がいとは？」	研修会	11月11日	福祉関係事業所	約45名	講師：更生療育センター、夢宙センター
		⑤ 事例検討	事例検討	3月18日	区内相談支援事業所	約20名	事例検討

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
日中活動部会		3回	区内日中活動系事業所	約30名	区内のニーズ把握と事業所間のネットワーク構築	定例会開催と勉強会の定着

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
日中活動部会		日中活動系事業所の合同説明会	イベント	7月5日	指定なし	約１０名	区内を中心に.「障がい福祉サービス」に取り組んでいる施設による合同説明会

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
子ども部会		12回	区内障がい児相談支援事業所 区内放課後等デイサービス 区内児童発達支援事業所	約25名	各事業所からの疑問等をもとに勉強会を開催	施設見学や研修会の開催等

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
子ども部会							

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
地域活動部会	定例会議	３回	天王寺区基幹相談支援センター 天王寺区身体障がい者団体協議会等	約10名	ボッチャ体験会等の開催について	継続した体験会等の開催や地域大会の支援

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
催事等	ボッチャ＆レクリエーション ①　（天王寺区はーとふるフェスタ内プログラム）	イベント	9月6日	指定なし	約50名	ボッチャ大会
	② ボッチャ体験会＆審判員養成講座	イベント	3月3日	区内在住、在学または在勤の方	約50名	ボッチャ・審判体験

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
協議会主催研修	研修会	1月23日	区民、関係機関	22名	「障がいのある不登校の子どもについて考える」をテーマに 回復のプロセス、親子の関わり、将来への不安について具体的な事例を用いた講演とGW	広報、集客方法の検討。

E　個別事例の検討状況

実施回数	３回	検討対象ケース数	3件	参加事業者・機関数	区内相談支援事業所	抽出された地域課題	
取組状況	総合的な支援調整の場にて３回実施。						

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

浪速区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		浪速区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	２回	参加者数（１回あたり）	15～20名程度
参画機関	障がい福祉関係	浪速区障がい者基幹相談支援センター・区内の障がいサービス事業所・地域生活支援センター・浪速区社会福祉協議会	障がい当事者等		高齢福祉関係	
	子育て・教育関係	大阪府立難波支援学校	就労関係	中部地域障害者就業・生活支援センター	保健・医療関係	
	地域団体・住民関係		その他			
検討課題・検討概要、取組内容		障がい者基幹相談支援センターの運営評価、各部会の活動報告等				
今後の課題や取組の方向性		地域課題の抽出、課題解決への取組を進めていく				

B　運営会議等

名称	運営会議	開催回数・頻度	２回	参加者数（１回あたり）	５名～10名程度
参加者	各部会の部会長、副部会長				
機能・役割、取組内容	各部会の活動内容の共有、課題についての検討				

C　部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援部会	定例会議	月１回	計画相談支援事業所	20	事業所選定、勉強会、事例検討	勉強会、事例検討を引き続き行っていく

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
催事等	中央こども相談センター見学説明会（相談支援部会・こども部会合同開催）	その他	R7.7.3	相談支援事業所、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所	60	中央こども相談センターの見学・説明

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
こども部会		月１回	児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所	10	勉強会の開催	情報共有を行い事業所運営につなげていく

催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	心和中学校　見学説明会	その他	R7.6.26	児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所	10	心和中学校（学びの多様化学校）の説明・見学

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
生活支援部会		２か月に１回	計画相談支援事業所、居住支援事業所	10	生活困窮や制度の狭間の門際、個別ケースの課題の掘り起こし	既存の制度では解決や対応が難しいケースについての情報共有の仕組みづくりを検討していく。

催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
日中活動部会		月１回	就労系サービス事業所	30	事業所紹介を通じて横のつながりをつくる	勉強会や事例検討を行い、事業所の質の向上につなげる

催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
障がい者スポーツの取組	イベント	R7.11.22	浪速区民		社会福祉協議会主催の「なにわ福祉ふれあい広場」において、体験コーナー（モルック）を設置	次年度も継続して活動を実施する。
なにわ区民まつり	イベント	R7.11.2	浪速区民		障がい者基幹相談支援センターのブースを設け、広報活動を実施	次年度も継続して活動を実施する。

E　個別事例の検討状況

実施回数		検討対象ケース数		参加事業者・機関数		抽出された地域課題	
取組状況							

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

西淀川 区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		運営会議	開催回数・頻度	６回　　（２か月に１回）	参加者数（１回あたり）	18名
参画機関	障がい福祉関係	西淀川区障がい者基幹相談支援センター・げんきな郷・石井ホームヘルプ・いきいき・西淀川発達支援センターたんぽぽ・姫島こども園・こうのとり・ゆうな・フリーライフ・ポルテみてじま・さんさんくらぶ	障がい当事者等	保護者代表	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係		就労関係		保健・医療関係	
	地域団体・住民関係		その他	西淀川区社会福祉協議会		
検討課題・検討概要、取組内容		意思決定・表明支援の重要性や利用者本人主体の支援体制を構築すべく、地域自立支援協議会全体を対象に、独自で本人中心の個別支援計画を作成し、地域とのつながりを築いている西宮市社会福祉協議会の職員を招いての研修・西宮の共生のまちづくりの拠点である「ふれぼの」の見学・意思決定・表明支援と虐待防止についての研修を実施した。また、地域生活支援拠点等の体制整備について、運営委員会にて協議し、各部会長・主任相談支援専門員が在籍する事業所を中心に登録してもらった。				
今後の課題や取組の方向性		令和7年度に、各部会長の事業所、主任相談専門員の在籍する事業所に地域生活支援拠点等の事業所として登録をしてもらった。次年度は、各部会の中で積極的に登録を働きかけ、西淀川区内の障がいのある方々が、安心して西淀川区内で継続して生活ができる体制を構築していく。また、本人主体についての考えを西淀川区内により深く浸透させるべく、継続して全体としての研修や勉強会を実施していく。				

B　運営会議等

名称	生活・就労部会実行委員会	開催回数・頻度	6回　　（2か月に１回）	参加者数（１回あたり）	6名
参加者	部会長、副部会長(3名）、基幹センター（事務局）				
機能・役割、取組内容	部会の取り組みについて、行事について(にしよどマーケット、障がい児・者のためのくらしやおしごとフェア　等)の企画				

名称	居宅介護事業所部会実行委員会	開催回数・頻度	４回　　（３か月に１回）	参加者数（１回あたり）	７名
参加者	部会長、副部会長(1名）、実行委員（3名）基幹センター(事務局)				
機能・役割、取組内容	部会の取り組みについての企画				

名称	こども部会実行委員会	開催回数・頻度	3回　　（6か月に1回）	参加者数 （1回あたり）	6名
参加者	部会長、副部会長、区役所、放デイ連絡会代表、基幹センター（事務局）				
機能・役割、取組内容	年間計画の素案の作成、次回部会の準備、研修等の打合せ				

名称	グループホーム部会実行委員会	開催回数・頻度	6回　　（　　2か月　に　　回）	参加者数 （1回あたり）	7名
参加者	部会長、副部会長（3名）、基幹センター(事務局)				
機能・役割、取組内容	本会議の開催に向けた打ち合わせ、イベントに向けた準備　など				

C　部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数 （1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援事業所部会	定例会議	月2回（年14回）	区基幹相談支援センター 区内の各相談支援事業所	30名	・選定会議　・研修会　・事例検討　・座談会	本人主体の支援をより浸透させるべく、事例検討と勉強会を継続し、相談員の質を向上させる。人材育成、地域課題など主任相談支援専門員の役割を考えていく必要性を感じている。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① アセスメント連続研修	研修会	11/4,11/21, 12/2,12/19	区内の各相談支援事業所	30名	①アセスメントについて講義、②架空事例のアセスメントの検討、③計画案作成（グループワーク）、④模擬支援会議（グループワーク）
		② 障がい・介護よりそい連絡会　研修会	研修会	2月20日	区内の相談員とケアマネージャー、包括支援センター、区役	50名	障がいがある方の65歳到達における、障がい福祉サービスから介護保険サービスへの移行のため、相談員とケアマネジャーの連携について引き継ぎフローチャートと事例を元にグループワークを行った。

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
こども部会	定例会議	8月以外月1回 （年１１回）	区基幹相談支援センター 区内の保育施設・小学校・中学校 支援学校 区内の児発・放デイ事業所	20名	・研修会　・事例検討　・支援学校での取り組み　・卒業生の進路	地域の小中学校の支援学級の先生の参加が難しいため、参画してもらえるように働きかけていく。保護者対応について、就学について、子どもを取り巻く子育て支援機関との連携について考えていきたい。

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
催事等	虐待防止研修 ①　「不適切な行為を防ぐ～こどもを尊重するために～」	研修会	10月7日	こども部会参加者、相談支援事業所	41名	虐待防止研修会 講師：瀧本　宏子　氏（認定NPO法人　児童虐待防止協会　企画・研修専門員）
	②					

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
放デイ連絡会	定例会議	2か月に1回（年6回）	区基幹相談支援センター 区内の児発・放デイ事業所	15名	・事業所見学会　・事例検討　・研修会　・座談会	事業所訪問、運営指導についてなど、興味のあるテーマだと参加率が上がる。しかし、放デイ事業所は増えている割には、連絡会への参加は少ない。参加率を上げ、いろんな事業所と連携を深めて、課題を検討していきたい。

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
催事等	①　ラグビーであそぼう	イベント	8月1日	区内の児発、放デイに通所する児童	60名	レッドハリケーンズ大阪の選手にお越しいただきラグビーボールを使ったレクリエーションを行った
	②　区役所　区民ギャラリーで作品展示	その他	1月20日～1月27日			区内の児発、放デイに通所する児童の作品を展示

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
生活・就労部会	定例会議	2か月に1回（年6回）	区基幹相談支援センター 区内の日中活動系事業所 支援学校	約45名	・事例検討　・研修会	西淀川区内のどの事業所に通っていても、西淀川区で住んでいてよかったと思ってもらえるよう地域生活支援拠点となる事業所を増やす。「くらしやおしごと相談フェア」の来場者数を増やしていく方策を検討していく。

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
催事等	①　障がい児・者のための　くらしやおしごと相談フェア	イベント	7月29日	主に障がいの当事者、ご家族、相談員など支援者等	約50名	部会参画事業所が一堂に終結しての事業所説明会
	②　研修（2回）	研修会	①7月16日 ②11月20日	部会参画事業所	①41人 ②46人	①行動障がいについて　　講師：風の輪　加藤 ②就労選択支援について 　講師：淀川就労・生活支援センター玉城氏、増井氏

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
居宅介護事業所部会	定例会議	3か月に1回（年4回）	区基幹相談支援センター 区内の居宅介護事業所	20名	・研修会	参画事業所が訪問介護事業所の半分くらいなので、いかにして参画事業所を増やしていくが課題。また介護保険のみ対応している事業所とどう連携していくか、介護保険側の連絡会に参加することも検討する。

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
催事等	① 防災研修	研修会	11月18日	部会参画事業所	16	西淀川区で想定される災害や、備えておくべき物事について 講師：西淀川区役所　防災担当　木村氏
	② 相談員との意見交換会	相談会	2月17日	居宅介護事業所部会、相談支援事業所部会に参画の事業所	32	相談員とヘルパーの連携について、困りごとへの相談等

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
グループホーム部会	定例会議	2か月に1回（年6回）	区基幹相談支援センター 区内のグループホーム事業所	25名	・意見交換会　・グループホーム見学会　・事例検討　・研修　等	各グループホームが地域の方々と繋がりを持ち、連携していける体制づくり。質の良いグループホーム作り。

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
催事等	スマホのお悩み解決室～インターネット上の金銭トラブルについて学ぼう！～	研修会	3月11日	部会に参画しているグループホーム事業所・日中事業所に通所する利用者や職員	20名	スマホにおける金銭トラブル防止のため、何が危険なのか等利用者とともに学ぶ。 講師：NTTドコモショップ　上村氏

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
本人中心（主体）の支援について	研修会	2025/10/7	自立支援協議会へ参画している機関	50名	西宮市社会福祉協議会　清水明彦副理事長を講師に招き、「本人中心（主体）の支援」の視点について、西宮市の自立支援協議会において地域ぐるみで行ってきた実践をお話しいただいた。	研修会や事例検討を通して、西淀川区全体に本人中心（主体）の支援の視点が浸透していけるように取り組む。
虐待)防止と意思決定・表明支援	研修会	2026/2/3	自立支援協議会へ参画している機関	53名	西宮市社会福祉協議会　共生のまちづくり研究研修所 所長　北野　誠一氏に講義いただいた。意思決定・表明支援の取り組みが、虐待を未然に防ぐことに繋がるというお話から、実際の施設虐待事例を基にその背景と対策について講義をいただき、後半では各施設でできる取り組みや環境づくりについて考えるグループワークを行った。	講義をふまえてグループワークにて、意思決定支援・表明が実際の現場でできているかを考える機会を設けた。参加者から好評だったので、定期的に自分たちの支援が適切にできているのかを考える機会を考えていく。
福祉現場におけるカスタマーハラスメントについて～考え方、対策を学ぶ～	研修会	2026/3/3	自立支援協議会へ参画している機関	38名	（弁護士法人　梅ヶ枝中央法律事務所　弁護士　松嶋依子氏を講師に招き、カスタマーハラスメントの基本的な考え方や法的視点を踏まえ、現場でどのように対応すべきか、組織としてどのような対策が求められるのか等について、2025年6月の労働施策総合推進法の法改正を踏まえて学んだ。	障がい特性を踏まえて対応すべきか、カスタマーハラスメントとして対応すべきかについては、線引きが難しい。難しい対応については、事業所だけで抱え込まず、一緒に検討していける体制を構築していきたい。

E　個別事例の検討状況

実施回数	2回	検討対象ケース数	1件	参加事業者・機関数	15名	抽出された地域課題	ヘルパーを必要としているが、要望や暴言が多く、ヘルパーを疲弊させてしまうため、受け入れてくれる事業所、ヘルパーがいない。対応困難なケースを事業所を超えて支えられる体制が必要。
取組状況	運営委員会にて、主任相談支援専門員から事例を提供してもらった。要望が多く、強い言葉でヘルパーの人権を傷つけるような言動も見られるため、どのように対応していくべきか、部会を超え、さまざまな立場から意見を出してもらった。行政、基幹センターが入っての支援会議等を実施することになった。また、特定の事業所だけでは対応が難しいケースに対し、区を挙げて支えられるような体制が構築できないかとの提案もあったため、今後の課題として捉えている。						

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

淀川区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		運営委員会（本会議）	開催回数・頻度	12回　　（月に１回）		参加者数（１回あたり）	10名
参画機関	障がい福祉関係	淀川区障がい者基幹相談支援センター、障害福祉事業所、地域活動支援センター(生活支援型)	障がい当事者等			高齢福祉関係	
	子育て・教育関係		就労関係	淀川地域障がい者就業・生活支援センター		保健・医療関係	淀川区役所保健福祉課
	地域団体・住民関係		その他	淀川区社会福祉協議会(見守り相談室含む)			
検討課題・検討概要、取組内容		・令和６年度活動報告（活動状況報告、課題・制度的問題まとめ）、基幹相談支援センター運営評価 ・令和７年度活動計画 ・市の施策として取り組むべき課題について ・強度行動障がい状態にある人の支援の質の向上 ・地域生活支援拠点等の登録促進に向けた取り組み ・地域活動協議会、地区防災計画、地域の防災訓練等について ・みおつくし　福祉・介護の仕事　きらめき大賞の動画を区役所モニターで放映等					
今後の課題や取組の方向性		・地域との交流を深め、事業所の作品の販売、防犯・防災の知識啓発 ・地域自立支援協議会の役割について ・研修費用について ・中核的人材による事例発表 ・個別避難確保計画、対象とならない人の避難計画について ・防災対策チェックリストの活用					

B　運営会議等

名称	運営委員会	開催回数・頻度	12回　　（月に１回）	参加者数（１回あたり）	10名
参加者	委員長、副委員長、各部会長、社会福祉協議会(見守り相談室含む)、地域活動支援センター(生活支援型)、淀川地域障がい者就業・生活支援センター、区役所保健福祉課				
機能・役割、取組内容	各部会からの活動状況の確認、防災チェックシートの更新、制度の説明と周知、新規部会参加事業所の確認、研修の企画等				

C　部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援部会	定例会議	11回	指定特定相談支援事業所等	25名程度	制度等の説明、新規事業所等の情報共有、困りごと等の意見交換	区の課題抽出、行政を含め多機関との連携のあり方、防災意識を高め地域との連携

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
① ビギナーのための研修１	研修会	6月12日	部会参加者	24	申請用紙の記入の仕方、受給者証の確認の仕方、初回訪問時の事前準備等
② 要援護者名簿について、子育て応援ヘルパー事業、家事育児支援事業について、地域生活支援拠点等について	研修会	7月3日	部会参加者	27	・要援護者名簿について：見守り相談室 ・子育て応援ヘルパー事業等の説明：子育て支援室 ・地域生活支援拠点等の制度説明：淀川区障がい者基幹相談支援センター
③ 生活保護について、オンライン会議について	研修会	9月9日	部会参加者	20	・生活保護の仕組み、申請の流れ等：生活保護支援ワーカー ・オンライン会議の流れ：淀川区障がい者基幹相談
④ ビギナーのための研修2	研修会	10月6日	部会参加者	27	計画相談の流れ、計画がつけられる時期、障がい福祉サービスの種類の説明
⑤ こども相談センターの役割・業務内容等につい	研修会	11月13日	部会参加者	24	・こども相談支援センターの役割、業務内容について：北部こども相談センター
⑥ 就労選択支援について	研修会	12月11日	部会参加者	25	・就労選択支援の基本の流れ、モデル事業の報告等：社会福祉法人加島友愛会　玉城氏による研修
⑦ 健康と防災について	研修会	1月8日	部会参加者	31	・災害への備えについて、淀川区役所保健福祉課守江氏による研修
⑧ ビギナーのための研修３　事例検討	研修会	2月12日	部会参加者	38	架空事例による５グループに分かれて事例検討

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
身体障がい者部会	定例会議	5 回	区障がい者基幹相談支援センター、指定特定相談支援事業所、地域活動支援センターＢ型、障がい当事者、ヘルパー事業所、生活介護事業所、在宅医療連携コーディネーター、就労継続支援Ａ型、就労継続支援Ｂ型、障がい者入所施設、地域障がい者就業・生活支援センター	15人程度	身体障がい者の支援に携わる事業所が互いの事業所を知り、連携を深めるために以下の取り組みを実施した。 ・身体障がい者の支援に関する意見交換及び課題の共有 ・身体障がい者向けの社会資源の共有 ・障がい当事者からの話しを聞く取り組み(淀川区で生活されている視覚障がい者より生活の実態や工夫していること、補助具、盲導犬の利用などについて話していただいた。) ・事業所見学会の実施(就労継続支援Ｂ型事業所Ｂｅ　Ｓｍｉｌｅ　ｗｉｔｈに部会員全員で訪問しB型の支援について知る機会とした。) ・地域生活支援拠点等についての勉強会	身体障がい者は物理的なバリアや職員の介護スキルによって社会資源の利用に制限を受けることが多い。また盲導犬の利用により入店を拒否される事案も出てきている。今後も部会を通してこういった事案を集約し、地域の課題抽出に取り組みたい。

催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
知的障がい者部会	定例会議	7回	障がい福祉サービス事業所（生活介護、就A,就B、GH、入所）、相談支援機関、在宅医療連携推進室、更生保護施設、知的相談員	17名程度	フェスタで啓発活動 交流会をひらく（人材育成） 地域防災を知る 3つの目標から一年間のテーマを決め、部会を開催してきた。計8回	令和7年度に交流会を開催。令和8年度についても、参加機関の声をきくと、ネットワークの拡大の声が上がった。引き続き交流会を開催し、ネットワーク拡大に努めたい。 フェスタでの啓発活動を予定していたが雨天の為中止。今年度も引き続き、啓発活動につとめたい。 また今年度はまた、グループホームについて、分科会を立ち上げ、区内グループホームの支援力向上を目指したい。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
居宅介護事業所部会	定例会議	3回	障がい福祉サービス事業所	6名程度	事例検討、運営指導の内容共有、法改正内容の共有等	参加人数を増やしたい。皆の興味のある実のある内容にするために、研修会式の内容を増やす方向で考えている。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
就労支援部会	定例会議	11回	移行支援、B型、A型、支援学校、ハローワーク	10～15名程度	グループワーク　　人材育成、 合同模擬面接会、企業説明会、大阪府職業訓練について、 A型・B型限定意見交換会、各セミナー開催など	人材育成及び事業所・サービス質の向上

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 大阪府商工労働部中田氏より、職業訓練の案内	その他	5月8日		20	
		② 合同模擬面接会	イベント	9月9日	就労支援部会参加事業所に通所されている当事者	30	就労支援部会に参加している事業所　就職面接会を想定して模擬面接を開催
		③ 企業説明会	イベント	11月11日	就労支援部会参加事業所	15	特例子会社クボタワークスの取組み・企業概要など
		④ 支援機関向けセミナー	研修会	12月11日	就労支援部会参加事業所　地域の事業所	25	連携について 西浦クリニック　長谷高氏
		⑤ 就労選択支援事業について	研修会	1月8日	就労支援部会参加事業所　計画相談など地域の事業所	36	就労選択支援についてと現状 加島友愛会　　玉城氏
		⑥ 企業支援セミナー	研修会	3月4日	就労支援部会参加事業所　地域の事業所　企業	35	障害者雇用の実践報告　グループワーク ダイキン福祉サービス株式会社　辻井氏 障害者雇用施策について　大阪労働局　山根氏

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
こども支援部会	定例会議	11回	淀川区内の放課後等デイサービス・児童発達支援事業者、東淀川支援学校、子どもサポートネット	40名程度	情報共有、意見交換、研修の実施、地域交流	地域交流を活発にする、研修の拡充、事業者間交流

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
催事等	① 出来島支援学校の見学	イベント	5月	淀川区内の放課後等デイサービス・児童発達支援事業者、東淀川支援学校、子どもサポートネット	10	新設支援学校の見学、部会での共有
	② ハロウィンお菓子交換イベント	イベント	10月	淀川区内の放課後等デイサービス・児童発達支援事業者	50	地域交流、事業所間連携の構築

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
精神保健福祉部会	定例会議	12回	保健福祉課・相談支援・訪問看護・就労移行支援・就労継続支援B型等	22名程度	概ね事例検討（問題解決しない事例検討の方法を新に導入）、保健福祉センターと共催で勉強会実施	参加事業所の多様化に伴い、プロジェクトチームで当部会の目的や運営方法を検討・共有していく予定

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
催事等	聞きたかった！大人の発達障害と支援について	研修会	2月26日	淀川区の精神障がい者支援に関わる方	47	聞きたかった！大人の発達障害と支援について 緑川Dr、津野psw　/　講演

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
強度行動障がいの支援について	研修会	R7.6.20	障がい者支援に携わる福祉事業所等の職員	28	ジョブサイトよど　下施設長による研修	地域全体の支援力の向上につなげていく
福祉現場におけるカスタマーハラスメントへの対応	研修会	R7.9.8	障がい者支援に携わる福祉事業所等の職員	25	学校法人関西医科大学　手嶌助教による研修	カスタマーハラスメントへの対応として事業所として取り組める
強度行動障がいの実践について事例発表	研修会	R7.9.26	障がい者支援に携わる福祉事業所等の職員	26	強度行動障がいの支援をしているグループホーム、入所施設からの事例発表	事例を参考とし、アセスメントをもとにした支援についての定着
地域生活支援拠点等はご存知ですか	研修会	R7.11.7	障がい者支援に携わる福祉事業所等の職員	22	大阪市障がい福祉課担当職員による研修	地域生活支援拠点等についての制度の周知、登録へとつなげる
施設利用者への虐待が生まれない環境を目指して	研修会	R8.2.20	障がい者支援に携わる福祉事業所等の職員	34	大阪人間科学大学　吉池准教授による研修	虐待防止、人権意識を高められるようにつなげる。
自転車道路交通法講習会	研修会	R8.3.12	障がい者支援に携わる福祉事業所等の職員	13	淀川警察交通安全課職員による青切符導入等について	職員の交通ルール理解から当事者への情報発信へとつなげる
主任・基幹ワーキングチーム	その他	R7.4～毎月	主任・基幹スタッフ・事務局	5～6	淀川区の相談員が気軽に身近なところに相談しやすい体制づくり。チラシ作成、相談部会内でビギナー向け研修３回実施	研修内容についてビギナー向け、経験者向けなど調整を図る
合同就職面接会	その他	12月15日	障害者雇用　求職者		ハローワーク淀川区　淀川区　就労支援部会で就職面接会を開催実施	

E　個別事例の検討状況

実施回数	3回	検討対象ケース数	3件	参加事業者・機関数	6件	抽出された地域課題	複合的な課題を抱える世帯に伴奏型支援、意思決定支援を連動した生活をささえる仕組み
取組状況	多職種連携による世帯単位の包括的支援と専門的助言を適宜活用しながら、支援に取り組む。						

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

東淀川 区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		東淀川区地域自立支援協議会　全体会議	開催回数・頻度	3回	参加者数（１回あたり）	40～60
参画機関	障がい福祉関係	○	障がい当事者等	○	高齢福祉関係	○
	子育て・教育関係	○	就労関係	○	保健・医療関係	○
	地域団体・住民関係	○	その他			
検討課題・検討概要、取組内容		・昨年度から継続的に防災について、事業所として、支援者として、当事者として、様々な観点から学びを深め、災害時に求められる役割や平時からの備えをを意識する。 ・「事業所交流会」を開催し、様々な分野の支援者が一同に会し、顔の見える関係を作りや横のつながりの強化を目的に意見交換や情報交換を行う。				
今後の課題や取組の方向性		防災研修や事業所交流会は継続した上で、定期的な研修を活発に行い、他にも近年のトレンドに従って最新情報を区内事業所へ提供する。				

B　運営会議等

名称	東淀川区地域自立支援協議会　事務局会議	開催回数・頻度	10回	参加者数（１回あたり）	25
参加者	正副会長、事務局長、事務局員、各部会代表者、基幹センター、区身体障がい者協議会代表者、区手をつなぐ育成会代表者、区在宅医療・介護連携相談室、区社会福祉協議会、区役所担当者				
機能・役割、取組内容	定期的に各部会の活動状況共有、全体会議の開催準備、区民まつりの参画に向けた準備（区地域自立支援協議会に関する周知）、障がい者スポーツフェスタ・みんなで和っしょいの運営方法や役割などの議論・決定、地域生活支援拠点の参画事業周知・受入れ、支援者のメンタルヘルスについて検討、防災・個別避難計画についての検討、他区地域自立支援協議会との連携、新たな協議会運営体制の強化（協議会開催前の三役会議の創設）				

C　部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性		
居宅介護事業所部会	定例会議	9	居宅介護事業所、GH事業所、基幹センター、区役所	10	管理者やヘルパーが、支援現場での課題を話し合い、共有することでサービス向上をめざす。事業所間の情報交換、勉強会・交流会の開催	多くの事業所へ部会への参加を促す		
	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）	
		LET'S vol.７ 事業所説明会	相談会	R7.6.11	障がい者（児）及びその家族	50	就労支援事業所部会と合同開催で、事業所説明会及び個別相談会	

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援部会	定例会議	12	相談支援事業所、基幹センター、区役所	30	障がいに関する相談員が、情報交換などを行い、サービスや福祉制度の理解向上のための検討を行う。	毎回、事例検討の時間を設けることで、相談員が一人で悩みを抱え込むことなく、気軽に相談できる体制を構築する。相談員同士の横のつながりを作る。

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
催事等	① 研修会「現場で知っておきたい精神疾患の特徴と支援について」	研修会	R7.8.28	部会員	50	「アルコール依存症も含めた現場で知っておきたい精神疾患の特徴と支援について」藤田愛子Dr.（咲く花クリニック院長）
	② 研修会「援助職のための心の健康とパーソナリティ特性」	研修会	R8.2.26	部会員	50	「援助職のための心の健康とパーソナリティ特性」大西次郎教授（大阪公立大学大学院生活科学研究科総合福祉・臨床心理学分野教授）

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
精神保健福祉部会	定例会議	11	地域活動支援センター、医療機関、訪問看護ステーション、相談支援事業所、就労支援事業所、基幹センター、区役所	25	精神障がい者が、地域で生活するための社会資源の情報提供や精神障がいに関する啓発活動などを行う。部会内事例検討会。拡大事例発表会。拡大研修会。障がい福祉サービス事業所と医療機関、行政との連携・情報交換。	【課題】精神障がい者をとりまく状況や疾患、障がいの理解に向けて、地域への情報発信をどうしていくか。福祉サービスと精神科医療のより密な連携が必要。高齢障がい者が増加しており、高齢者の支援者に向けての情報発信も必要。依存症の対応が増えており適切な支援を行なうためには理解が不可欠である。研修などを通して今後も正しい情報発信を行う。【取組】実践的な理解や対応について、事例検討会や研修等を行い、情報発信、問題提起などを行う。保健・福祉と精神科医療の連携強化。集合とリモートのハイブリット開催。

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
催事等	① 研修会「アルコール依存症について」	研修会	R7.6.17	部会員	35	NPO法人いちごの会を招いて研修会を開催
	② 拡大事例検討・勉強会	事例検討	R7.9.16	部会員及び支援に携わる方	35	新阿武山クリニック　平野建二Dr.を講師に事例検討・勉強会を実施

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
こども部会	定例会議	11	障がい児支援施設、保育園、支援学校、基幹センター、母子生活支援施設、区役所	30	障がい児にかかわる教育、福祉、医療関係者が研修などを通し、連携・支援体制の充実を図る。BCPについての勉強会。施設見学。保護者支援について。思春期の発達障がいの子どもへの支援について。大阪市の特別支援教育について。運営指導について。情報交換会。	こども部会の取り組みについて役割分担を含めて組織化していく。学校も含めて関係機関で連携、協力体制を築く。事例検討を通して障がいや発達障がいについての理解を深める。学校卒業後の進路について勉強会を持つ。食事や運動的な取り組みについて事業所間で情報交換をする。

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
催事等	① 事例検討・事業所見学会	事例検討	R7.6.13	部会員	25	児童発達支援事業所「LITALICOジュニア新大阪教室」
	② 研修会「大阪市の特別支援教育」	研修会	R7.12.12	部会員	25	教育委員会事務局指導部インクルーシブ教育推進担当

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
就労支援部会	定例会議	12	就労支援事業所、基幹センター、淀川地域就業・生活支援センター、支援学校、区役所	25	就労支援事業所等と障がい者に対する職の場の開拓や情報共有を行い、地域におけるつながりづくりを行う。	SNSを活用した部会運営を行う。これまで就労支援部会が主催していたLET'S 事業所説明会について、実行委員会を立ち上げ、協議会全体で開催していく。事業所一覧マップを作成したいと考えている。

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
催事等	① LET'S vol.7 事業所説明会	相談会	R7.6.11	障がい者（児）及びその家族	50	居宅介護事業所部会と合同開催で、事業所説明会及び個別相談会
	② 特例子会社見学会	その他	R7.12.16 R7.12.17	部会員	10	パナソニックエコシステムズ（門真市）、ココワーク（吹田市）を見学

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
第9回東淀川区障がい者ボッチャフェスタ	イベント	R7.9.11	障がい当事者、地域住民、事業所、区役所	100	障がい者の心身のリフレッシュを図るとともに、地域の障がい児・障がい者施設、事業所、団体と地域住民の相互交流のため、ボッチャフェスタを開催	障がいの有無に関わらず、共に尊重し、住み慣れた地域で暮らすことができるため、顔の見える関係づくりを構築する。
第10回みんなで和っしょい	イベント	R7.11.8	障がい当事者、地域住民、事業所	1,000	障がい者と地域の交流フェスタ	障がい者福祉が地域に根ざすことを主たる目的としてネットワーク並びに地域づくりに努める。
障がい者週間啓発	その他	R7.12.4	障がい当事者、地域住民、事業所、区役所	30	障がい者週間にあわせて、ティッシュとカイロを区役所庁舎周辺で配布し、啓発を行う	障がい者福祉の関心と理解を深めるとともに障がい者の社会参加の意欲を高めるため、継続して啓発活動を行う。

E　個別事例の検討状況

実施回数	0回	検討対象ケース数		参加事業者・機関数		抽出された地域課題	
取組状況							

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

東成区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		東成区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	3 回	参加者数（１回あたり）	20
参画機関	障がい福祉関係	東成区障がい者基幹相談支援センター、自立生活センター・おおさかひがし、精神障害者地域生活支援センター　すいすい、大阪手をつなぐ育成会　中央支援センター、相談支援部会の代表、事業所部会の代表	障がい当事者等	東成区身体障害者福祉会、身体障がい者・知的障がい者相談員	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係		就労関係	大阪市障がい者就業・生活支援センター	保健・医療関係	東成区役所保健福祉課
	地域団体・住民関係	東成区民生委員児童委員協議会、ひがしなりWELL-LINE、東成区社会福祉協議会	その他	東成区見守り相談室		
検討課題・検討概要、取組内容		・事業所間連携強化及び地域生活支援拠点登録促進に向けた取組 ・障がい理解啓発（映画上映会、日中活動事業所展、ボッチャ体験によるふれあい機会の場づくり　等）				
今後の課題や取組の方向性		事業所間連携強化、個別事例検討の実施、障がい理解啓発の推進　等				

B　運営会議等

名称	ワーキング	開催回数・頻度	4 回	参加者数（１回あたり）	5
参加者	東成区地域自立支援協議会構成団体から選出				
機能・役割、取組内容	障がい者イベント等の事業内容を検討				

C　部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援部会	定例会議	12	区内の相談支援事業所		・相談支援事業所及び障がい児通所サービス事業所一覧作成 ・新規ケースの選定	・サービス利用計画等の作成方法に関する勉強会を実施予定

催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
事業所部会	定例会議	4	障がい福祉指定事業別連絡会の代表	11	・障がい児通所サービス事業所一覧 ・教育との連携	

催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	虐待防止に関する研修会	研修会	1月20日	障がい福祉サービス事業所	33	大阪市における障がい者施設従事者等による虐待通報・相談の実態、福祉局障がい者施策部運営指導課職員

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
障がいのいろいろ相談会	相談会	6/13、8/8、10/10、12/12、2/13	障がいについて困りごとをお持ちの方	2	東成区地域自立支援協議会構成団体による相談会	より多くの方にこの取り組みを理解してもらえるよう広報することを前提に継続実施
障がい理解のためのスポーツパネル展	イベント	12月3日～9日	一般区民	120	障がい者スポーツパネル展示、ボッチャ体験	実施後のアンケートにおいても良好であったことから継続実施
障がい者に対する理解を深めるための区民公開講座	イベント	2月21日	一般区民	70	大阪府人権教育啓発ドラマ「アイム　ヒア　僕はここにいる」の上映	実施後のアンケートにおいても良好であったことから継続実施

E　個別事例の検討状況

実施回数	0回	検討対象ケース数		参加事業者・機関数		抽出された地域課題	
取組状況							

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

生野 区地域自立支援協議会

名称		生野区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	4 回　　（2、3か月に１回）	参加者数（１回あたり）	20名程度
参画機関	障がい福祉関係	生野区障がい者基幹相談支援センター、障がい者グループホーム連絡会、障がい者相談支援事業者、身体障がい者相談員、知的障がい者相談員、障がい者福祉サービス事業者、訪問系連絡会、生野区学童期こども支援連絡会	障がい当事者等	障がい者（当事者）団体	高齢福祉関係	―
	子育て・教育関係	障がい児（者）教育機関、子ども相談センター	就労関係	就業・生活支援センター	保健・医療関係	―
	地域団体・住民関係	―	その他	生野区社会福祉協議会、各部会長		
検討課題・検討概要、取組内容		○生野区障がい者基幹相談支援センターの運営評価　○各部会の年間計画と活動報告　○市レベルで取り組むべき課題について　○防災について　○障がい者・障がい児事業所からの情報共有　○生野区高齢者・障がい者虐待防止連絡会　○障がい者虐待について　○令和８年度年間計画について				
今後の課題や取組の方向性		○障がい者グループホームの現状把握による地域課題の抽出　○支援困難事例等に対する関係機関の連携による具体的な支援方針等に係る協議　○障がい児支援に係る現状把握による地域課題の抽出				

B　運営会議等

名称	生野区地域自立支援協議会役員会	開催回数・頻度	4 回　　（2、3か月に１回）	参加者数（１回あたり）	5名程度
参加者	生野区障がい者基幹相談支援センター、障がい者（当事者）団体、障がい者グループホーム連絡会、生野区社会福祉協議会、障がい者相談支援事業者等				
機能・役割、取組内容	各協議会に諮る議題、議論の方向性の検討				

C 部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援部会	定例会議	12回	区内計画相談事業所	30人	月１回、講師を呼び、マネジメントの向上を図る 他事業所間で、困難ケースの意見の交換間や 事例検討を行っている	■ 現状の課題 ①経験豊富な専門員と新任の専門員が、同じ講師から同一内容の研修を受けている。そのため、経験値の差に応じた学びが得られにくい。新任者には難しすぎる内容が含まれる場合があり、またベテランには既知の内容が多く、学習効果が限定的といった“研修効果のばらつき”が生じている。 支援現場のニーズが複雑化し、個々の専門員が抱える課題も異なり、一律の研修では、個別のスキルアップにつながりにくい。 ②一部の事業所では部会への参加が見られず、また専門員一人が責任を負わされている事業所もあることから（1人専門員）、情報共有や連携体制にばらつきが生じている。 さらに、専門員同士の交流機会が限られているため、情報交換や相互支援が十分に行われず、困難ケースへの対応や地域課題の把握が個々の専門員の判断に左右されやすい状況となっている。 ■ 今後の取組の方向性 ①新任者向け、中堅・ベテラン向け、共通研修案を検討し、専門員それぞれの支援力が底上げされるよう取組む。 地域課題の取組については毎年度開催し、地域のしくみづくりにつなげていきたい。 ②専門員同士の横のつながり・ネットワークづくり ③部会取組や支援・連携に必要な情報をデジタル化できるよう検討していく。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 新人専門員研修	相談会	12/11、1/16 2/13、3/13	新人相談員	10名	新人専門員研修 講師：主任相談支援専門員

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
主任相談支援専門部会	定例会議	3回	区内主任相談支援専門員	5人	生野区における地域課題の調査 生野区にある障がい者グループホームに、専門員が見学に行き、アンケートの聴取を行う	■ 現状の課題 主任の人数が限られているため、地域課題の把握や人材育成等を受ける機会が少なく、現任の専門員が持つ知識や経験を十分に活かしきれていない状況がある。 ■ 今後の取組の方向性 現任の専門員にも協力依頼をし有識者による勉強会の実施や、グループホーム見学の継続を通じて地域課題を抽出し、専門員全体の知識向上と体制強化を図る必要がある。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
グループホーム部会	定例会議	8回	区内グループホーム	10人程度	・連絡会の運営について ・普通救命講習 ・ハラスメント防止研修 ・事例検討会	講習会や勉強会の実施を検討 各場で問題になっていることや情報の共有を図る

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
こども部会	定例会議	10回	児童発達支援事業所 放課後等デイサービス事業所 こどもの居場所事業所 障害児家族会／相談支援事業所 子育てプラザ／訪問看護事業所 多文化支援NPO／フリースクール	20人	救命救急講習 性教育をテーマとした研修会 生野区の子どもに関わる社会資源の洗い出しと共有	事例検討や地域課題の共有の機会を増やす

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① こどもがおみせやさん	イベント	2025/10/9	障害児及び一般家庭	40	こども食堂と連携し、それぞれ子ども本人が企画した内容でお店を出店。就労のイメージと、障害児本人の達成感と経験の場を提供する。
		② みんなのはっぴょうかい	イベント	2026/3/30	障害児支援事業所および障害児	30	それぞれが企画した内容を舞台で発表し、障害児本人の達成感と経験の場を提供する。

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
個別事例検討部会	定例会議	1	ＳＶ、生野・鶴橋包括支援センター、生野区社会福祉協議会みまもり支援室、生野区役所保健福祉課虐待担当・障がい担当・生活支援課、基幹相談支援センター	14	不適切な対応事例への関わりについて 支援連携の振り返りと改善ポイント ＳＶ：きづがわ共同法律事務所青木弁護士	地域課題に関する個別ケース検討の機会が十分に確保されておらず、継続的な課題把握や対応策の検討が進みにくい状況がある。 また、事務局との連携も限定的であることから、情報共有や運営調整に課題が生じている。 今後は、R7年度の開催事例を基盤として、内容の改善やテーマ設定の工夫を行い、継続的な学びと課題抽出につなげていく。 事務局との連携を強化し、開催調整・情報共有・課題整理を共同で進めることで、より効果的な運営体制を構築していき、地域課題の把握と対応力の向上につなげていく。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性

E　個別事例の検討状況

実施回数	1回	検討対象ケース数	1ケース	参加事業者・機関数	7件	抽出された地域課題	不適切な対応事例への関わりについて
取組状況	地域課題に関する個別ケース検討の機会が十分に確保されておらず、継続的な課題把握や対応策の検討が進みにくい状況がある。 また、事務局との連携も限定的であることから、情報共有や運営調整に課題が生じている。 今後は、R7年度の開催事例を基盤として、内容の改善やテーマ設定の工夫を行い、継続的な学びと課題抽出につなげていく。 事務局との連携を強化し、開催調整・情報共有・課題整理を共同で進めることで、より効果的な運営体制を構築していき、地域課題の把握と対応力の向上につなげていく。						

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

旭 区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		旭区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	6 回　（　2か月　に１回）	参加者数（１回あたり）	委員１７，区事務局職員３
参画機関	障がい福祉関係	社会福祉法人リベルタ、社会福祉法人　大阪市福祉事業財団、、相談支援センターてのはな、特定非営利活動法人さかえ会、NPO法人地域生活サポートネットほうぷ、あゆみ工房、、両国ふれあいハウスケイフレンド、旭区障がい者基幹相談支援センター、相談支援あさひ、豊里学園	障がい当事者等	大阪市身体障害者団体協議会旭区支部	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係	大阪府立　思斉支援学校、大阪府立　光陽支援学校	就労関係	北部地域障がい者就業・生活支援センター	保健・医療関係	旭区役所保健子育て課
	地域団体・住民関係		その他	旭区社会福祉協議会、旭区役所福祉課、生活支援課		
検討課題・検討概要、取組内容		第２期旭区地域福祉計画策定委員会障がい者福祉部会（２回）、要支援者にかかる防災について（個別避難計画、福祉避難所、避難所における要配慮事項等、地域防災訓練）、障がい者スポーツ振興関係、総会開催（年１回　５月）				
今後の課題や取組の方向性		区役所の福祉・防災関係部署と意見交換、各地域各種防災訓練に参加するなど障がい当事者や家族、事業所と地域との顔の見える関係づくり、事業所間の連携構築				

B　運営会議等

名称	旭区地域自立支援協議会本会事務局会議	開催回数・頻度	6 回　（２か月に１回）	参加者数（１回あたり）	委員６、区事務局職員３、区防災安全課職員１
参加者	議長、副議長３、障がい者基幹相談支援センター２、区役所福祉課職員３、区防災安全課職員１				
機能・役割、取組内容	本会議議事内容検討、本会議事進行の打合せ、要支援者にかかる防災について（個別避難計画、福祉避難所、避難所における要配慮事項等、地域防災訓練）				

C　部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
こども部会	定例会議	3	障がい児サービス事業所、障がい当事者家族、NPO、基幹相談C、小児科医、区内小中学校、区内支援学校、民児協、保健子育て課職員	委員28名，区事務局職員３名	・学校、支援団体や事業所の情報を集め、共有 ・教育と福祉と医療の連携について、意見交換による課題の共有（課題解決に向けた方策の検討） ・障がい児福祉サービス等情報共有	・多職種の委員構成のため、都度日程調整のうえ不定期開催としているが、参加調整に困難を抱えている状況は否めない ・教育と福祉と医療の連携について、意見交換による課題の共有はできたが、課題解決に向けた方策の検討の取り組みが進まなかったため、課題解決に向けた取り組みをすすめていきたい

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	①　就学・進学なんでも相談会	相談会	6～７月（計１１回）	障がいのある未就学児・小学生・中学生の保護者	相談者：のべ２６組	区内10小学校と旭区役所を会場に、就学・進学にかかわる相談会（こども部会と相談支援部会の委員が相談にあたる）
	②　子育て応援セミナー	研修会	8月17日	障がいのあるこどもの保護者	７名委員と事務局１０名	先輩当事者や家族の体験談とグループディスカッション

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援部会	定例会議	6	相談支援事業所、基幹相談支援センター	23	・相談支援事業所の連携強化、相談支援体制の強化と質の向上 ・事例検討などを通して、地域課題の抽出 ・制度学習等を行い知識向上を目指す	相談支援員間での連携強化。相談員の質の向上。相談支援事業所の増加

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	①　制度学習会(定例会議内)	研修会	6/18 10/15 12/17	相談支援部会委員	23	「子育て支援室との連携に向けた支援室のスキームについて」「就労選択支援事業」「カスタマーハラスメント」
	②　事例検討	事例検討	8/20	相談支援部会委員	23	２つのグループにわかれて同じ事例を検討、多角的な利用者の支援方法や見方、社会資源等について検討

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
高齢・障がい部会	定例会議	6	障がい者基幹相談支援センター 地域包括支援センター 障がいサービス事業所 介護保険ケアマネジャー 区保健師 区高齢担当 区介護保険担当	委員18名	・ケアマネジャーに対し介護保険制度移行に向けたガイドライン、障がい福祉サービスについての情報提供 ・障がい福祉サービスから介護保険制度移行時の対応について合同研修会を開催 ・「介護保険制度移行に向けたガイドライン」の再々検討	地域における障がい者福祉と高齢者福祉関係機関の相互連携を図り、その連携を強化し、障がい者の高齢化にともなう課題解決を図る

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
① 旭けあねっと・高齢障がい部会合同研修会	研修会	5月22日	ケアマネジャー・相談支援専門員	ケアマネジャー：66名 相談支援専門員：20名	障がい福祉サービスから介護保険制度移行時の対応
② 介護保険制度移行に向けたガイドラインの再々検討	その他	会議の度	高齢障がい部会委員	18名	ガイドラインの運用実態を踏まえた実用性の検証

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
日中支援部会	定例会議	6	障がい者サービス事業所（就A・B、生活介護、生活訓練）、基幹相談支援センター、北部地域障がい者就業・生活支援センター、地域活動支援センター	16	交流イベント「和んで座談会」企画・運営、事業所間連携、学習会、授産製品販売会	多職種の委員構成のため、都度日程調整のうえ不定期開催としているが、参加調整に困難を抱えている状況は否めない。 災害時における地域との連携、事業所間連携を見据えた、障がいのある人の地域参加支援等、平時からのつながりを深める取組み。

名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
① 和んで座談会	イベント	12月5日	障がい当事者、地域住民、障がい事業所ほか	152名	舞台発表、区内ボランティアサークルによる演奏会、授産製品展示、ミニ４駆走行体験、手作りワークショップ、障がいのある人が行うマジック
② 防災研修	研修会	10月21日	区内障がいサービス事業所職員	23名	講師：防災安全課職員 防災（避難やBCPの計画・訓練など）の取り組みについて
③ 物販、地域交流	その他	毎月第１金曜日　毎月第３，４木曜日、他	障がい当事者、地域住民、障がい事業所ほか	千林ふれあい館77名、区役所65名	城北公園マルシェ（10月・３月）さくら苑マルシェ（12月・２月）、さくら苑イベント（９月）、あさひ福祉祭り（10月）への参加。物販、ミニ四駆体験走行など

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
事業所連絡会（児）	その他	年３・４回	障がい児事業所、こども部会長、基幹相談支援センター	約20名	区内障がい児通所サービス事業所間の連携および情報交換、障がい児福祉イベントの開催（令和6年8月5日　パラスポーツ体験交流会　111名参加）	

E　個別事例の検討状況

実施回数	6回	検討対象ケース数	6件	参加事業者・機関数	41件	抽出された地域課題	個別ケースについての検討を行ったが、地域課題として抽出された課題はなし。
取組状況							

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

城東区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		全体会議	開催回数・頻度	年２回　（６か月に１回）	参加者数（１回あたり）	約２０名
参画機関	障がい福祉関係	各障害福祉事業所	障がい当事者等	身体障害者福祉会、精神障害者家族会	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係	子育て教育課・支援校進路担当	就労関係	ハローワーク・就労ポツ	保健・医療関係	区障害福祉課・保健師・訪問看護ステーション
	地域団体・住民関係	社会福祉協議会、民生児童委員協議会	その他			
検討課題・検討概要、取組内容		区役所より報告・各部会活動報告・新規参加事業所紹介・毎回テーマを設定、その課題に対するスピーカーを招いて報告				
今後の課題や取組の方向性		新規事業所が増加、協議会として機能、役割の再確認とネットワークの拡大が必要				

A　協議会本会議（２）

名称		本会議	開催回数・頻度	年２回　（６か月に１回）	参加者数（１回あたり）	約６５名
参画機関	障がい福祉関係	基幹センター、相談支援部会等部会代表、地域障がい者相談員	障がい当事者等	身体障害者福祉会、当事者代表、精神家族会、発達親の会	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係	子育て教育課、信愛学院大学	就労関係	就労ポツ	保健・医療関係	医師会（つつみクリニックほか）、訪問看護ステーション代表
	地域団体・住民関係	社会福祉協議会、民生児童委員協議会	その他			
検討課題・検討概要、取組内容		区内における障がい福祉に関わる現状と課題について、福祉、医療、教育関係者による意見交換の場として、毎回テーマを決めて実施（令和７年度①各分野のとりくみ交流②精神障害）				
今後の課題や取組の方向性		従来の「全体会議」を発展させ、令和７年度より、「本会議」の設置。行政主導で市、区の地域福祉プランに反映できる議題設定、討議をはかるものにしていく。				

B　運営会議等

名称	協議会部会長会議	開催回数・頻度	12 回　（月に１回）	参加者数（１回あたり）	18名
参加者	委員長・各部会長・事務局・庶務				
機能・役割、取組内容	情勢や制度変更やおきている現況と課題を議論し、全体会、各部会に反映する				

C　部会

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援		毎月開催	基幹相談・相談支援事業所	20	選定会議後、研修・交流を中心に活動	相談支援として質の向上（困難事例への対応も）

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
相談支援		① 就労選択支援研修	研修会		相談支援事業所	20	就労選択支援の制度と現状について
		② ヤングケアラー研修	研修会		相談支援事業所	20	ヤングケアラーについて

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
地域活動部会		役員会毎月・会議3か月1	基幹相談・支援事業所・区防災	15	福祉避難所のとりくみ・ボッチャ大会・中学生福祉体験	福祉避難所の拡大と体系化

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
地域活動部会		①　ボッチャ大会	イベント	10月17日	事業所利用者・地域福祉委員・区職員ほか	100	ボッチャ
		②　公式ライン避難訓練	イベント	11月15日	区防災・障がい福祉・福祉避難所拠点事業所	15	公式ラインを使った連絡の実施訓練
		③ 災害時要援護者支援研修	研修会	3月12日	地域活動協議会役員ほか・社協・地域活動部会役員	30	障がい疑似体験、防災研修

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
児童部会		毎月（8月休会）	基幹・児童事業所・親の会、訪看、	20	こどもをめぐる情報交換・テーマを決めたグループデスカッション	療育水準の向上とネットワークづくり

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
児童部会		① こどもたちの性教育研修	研修会	6月5日	事業所職員・保護者・子育て関係機関職員	60	こどもたちの性に関するテーマ・思春期保健相談士
		② 「感染症」研修	研修会	11月4日	事業所職員・保護者・子育て関係機関職員	65	感染症に関する対応　訪問看護（KISA2隊）
		③ 個別事例検討会	事例検討	2月26日	事業所職員	60	個別事例をテーマにグループ討議
		④ ゲーム大会	イベント	3月28日	事業所利用者	200	ゲームを楽しむと同時に交流

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
就労部会		毎月	就労事業者・就ポツ	15	事業所見学会開催、パンフづくり、情報交換	共同のとりくみ検討、就労選択支援の対応

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
就労部会		支援校進路担当懇談	その他	2月18日	就労事業所	20	支援校後の進路傾向

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
地域生活部会		毎月	グループホーム・シェアハウスほか	10	地域生活にかかる課題検討	依存、累犯障がい者に関わる生活支援

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
地域生活部会							

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
居宅介護部会		0	居宅介護事業者	5	令和７年度は開催なし	ヘルパー確保と部会の活性化

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
居宅介護部会							

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
グループホーム交流会		３か月に１回	グループホーム	10	グループホーム運営について	情勢交流・意見交換など関係強化

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
グループホーム交流会							

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
医療的ケア児のための防災プロジェクト	その他	２か月に１回	大阪信愛大学・訪問看護・放デイ区社協・通所事業者・当事者家族ほか	15	医療的ケア児の福祉避難所を考え、日常的なネットワークづくりをすすめる	より多くの当事者・家族も含めた関係者のネットワークづくりを課題に
放出駅周辺バリアフリー点検	その他	9月25日	大阪市、地域住民、障がい団体・事業者	50	JR放出駅及びライトハウスまでののバリアフリー状況の点検活動	市政、まちづくりへの反映

E　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

鶴見 区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		鶴見区地域自立支援協議会	開催回数・頻度	３回　（　４か月　に１回）	参加者数（１回あたり）	15名程度
参画機関	障がい福祉関係	鶴見区保健福祉センター（保健福祉課） 鶴見区障がい者基幹相談支援センター	障がい当事者等		高齢福祉関係	
	子育て・教育関係		就労関係	大阪市北部地域障がい者就業・生活支援センター	保健・医療関係	
	地域団体・住民関係		その他	障がい児者支援施設　つるみの郷・児童デイサービス　けいきlittle・相談支援事業所　星あかり・ケア21・鶴見区身体障害者福祉協会 鶴見区社会福祉協議会・精神障がい者地域生活支援センターすいすい・相談支援くりぃむ・児童デイサービス　けいきjunior	
検討課題・検討概要、取組内容		【令和７年度活動計画】　各部会の開催頻度や主な活動内容について検討 【基幹相談支援センターの令和６年度の事業報告】基幹相談支援センター作成の自己評価シートに沿って報告及び質疑応答 【各部会からの取組報告】各部会により取組んだ活動についての報告				
今後の課題や取組の方向性		今後の各部会での取組内容について、各委員が集まり検討する場を開催予定				

B　運営会議等

名称		開催回数・頻度	（　に１回）	参加者数（１回あたり）
参加者				
機能・役割、取組内容				

C　部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援部会	定例会議	12	・基幹相談支援センター ・区内障がい者（児）事業所	25名程度	【障がい福祉サービスについて】 【基幹相談支援センター情報提供等】 【選定会議】	各部会での取組みだけでなく、各部会と連携し勉強会や研修会の開催を検討

催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
事業所部会	定例会議	10	・基幹相談支援センター ・区内障がい者（児）事業所 ・日本ライトハウス	6名程度	事業所部会主催による研修会開催に向けての検討	各部会での取組みだけでなく、各部会と連携し勉強会や研修会の開催を検討

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
催事等	① 福祉のしごと　大交流会	その他	11月12日	区内障がい者（児）事業者	50	障がい福祉サービス事業所の情報共有
	② いつもの支援これでいいのかな？	研修会	2月19日	区内障がい者（児）事業者	50	日々の支援の中で小さなサインを見逃さず様々な視点を広げる研修

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
児童部会	定例会議	10	・基幹相談支援センター ・区内障がい者（児）事業所	5名程度	児童部会主催による研修会開催に向けての検討	各部会での取組みだけでなく、各部会と連携し勉強会や研修会の開催を検討

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
催事等	① 児童福祉のスタッフ大交流会	その他	5月21日	区内障がい児事業者の職員	40	区内児童福祉にかかわるスタッフの交流
	②　　支援が必要な子供たちの今から明日	研修会	1月21日	区内障がい児事業者・障がい児の保護者	40	講師を招いての講習会

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
障がい者スポーツ体験会	イベント	10月5日	鶴見区民	250	区民まつりでの障がい者スポーツの紹介・体験会	

E　個別事例の検討状況

実施回数		検討対象ケース数		参加事業者・機関数		抽出された地域課題	
取組状況							

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

阿倍野 区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		阿倍野区地域自立支援協議会（本会）	開催回数・頻度	2回	参加者数（１回あたり）	19～22名
参画機関	障がい福祉関係	阿倍野区障がい者基幹相談支援センター、地域活動支援センターアクセス、あべのキッズプナナ、くらしの相談所、ピースプラント阿倍野、ワンダーギルド相談支援事業所、LITALICOワークス大阪天王寺、四天王寺さんめい苑、ILISPLAN阿倍野、相談支援事業所あいあい、スポーツアカデミーstar、こぱんはうすさくら大阪阿倍野教室、テラコヤキッズ阿倍野教室、しごとCLAN天王寺、アテナ平和、リカバリハウスいちご	障がい当事者等	阿倍野区身体障がい者団体協議会	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係	住之江支援学校	就労関係	中部就業・生活支援センター	保健・医療関係	
	地域団体・住民関係	阿倍野区作業所連絡会	その他	阿倍野区社会福祉協議会見守り相談室、育徳園、南さくら園		
検討課題・検討概要、取組内容		・運営会議、各部会間の情報の共有を図るためのしくみづくり（情報共有ツールDiscordの活用） ・各部会での取組（事例検討等）における地域課題の抽出、解決への意見・提案を考える ・区政へ参画し、地域における障がい福祉について行政と連携する（障がい者週間での啓発取組み、あべの防災チームの取組みなど）				
今後の課題や取組の方向性		運営会議、各部会間の情報共有にあたっては、アプリDiscordを使用して事業所間の情報共有を行っている。事務局が入れないため、事務局に対しては別途情報共有を行う必要があり手間がかかっているが、事業所管については引き続き活用しブラッシュアップしていく。 事例検討や個別支援会議を引き続き行い、地域課題の抽出、解決につなげる。また研修やイベントをとおして支援者のスキルアップ、障がいへの理解啓発につなげる。 住之江支援学校の生徒の進路の参考とする目的で合同説明会の開催や、地域保育所等への出前講座を行ったことは好評を得、今後も引き続き実施し関係機関との連携を深めていく。 行政との連携についても研修の共催、障がい者週間、あべの防災チームにおいて引き続き行っていく。				

B　運営会議等

名称	運営会議	開催回数・頻度	10回	参加者数（１回あたり）	15～20名
参加者	阿倍野区障がい者基幹相談支援センター、地域活動支援センターアクセス、あべのキッズプナナ、くらしの相談所、ピースプラント阿倍野、ワンダーギルド相談支援事業所、LITALICOワークス大阪天王寺、四天王寺さんめい苑、ILISPLAN阿倍野、相談支援事業所あいあい、スポーツアカデミーstar、こぱんはうすさくら大阪阿倍野教室、テラコヤキッズ阿倍野教室、しごとCLAN天王寺、アテナ平和、阿倍野区作業所連絡会、阿倍野区社会福祉協議会見守り相談室				
機能・役割、取組内容	・事例検討後の課題を共有するシステム作り ・部会、ワーキンググループ間の情報集約と共有、本会の運営				

C　部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あた	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援部会	定例会議	6回	区基幹相談支援センター、区内相談支援事業所、障がい児相談支援事業所	20-30	・相談支援の啓発活動・関係機関との連携強化（相談支援専門員の役割の明確化、相談支援にかかる周知方法の検討）　・地域課題の抽出 ・相談支援員のスキルアップ	相談支援の啓発活動・関係機関との連携強化（相談支援専門員の役割の明確化、相談支援にかかる周知方法の検討）、地域課題の抽出、相談支援員のスキルアップ等を引き続き行う。

		名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	① 勉強会	研修会	奇数月	相談支援事業所、日中活動系事業所、障がい児通所事業所	15～20名	「阿倍野区内での支援で困っていること」「地域生活移行推進事業、地域移行について」「相談支援従事者のスキルアップについて」「インテーク・アセスメント面談時における留意点について」「モニタリングの実践について」
		② 障がい者何でも相談会	相談会	毎月(4月、1月を除く)1日	区民	各1～3名	相談支援事業所の担当制による個別相談
		③ ハローワーク実演体験会	相談会	5月、8月、9月、11月、12月、3月	区民	各1～3名	ハローワークで開催される実演体験会における相談支援事業所の担当制による個別相談

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あた	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
日中系部会	定例会議	6回	地域活動支援センター、区内日中活動系事業所(障がい者のみ)、デイケア	22～35	・情報共有　・日中どこいこ？見つけるフェスタの開催 ・他部会との交流を図るイベント開催　・グループワーク ・住之江支援学校合同事業所説明会の開催	・情報共有　・日中どこいこ？見つけるフェスタの開催 ・他部会との交流を図るイベント開催　・グループワーク ・住之江支援学校合同事業所説明会の開催を引き続き行う

		名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	① 住之江支援学校合同説明会	イベント	7/5	住之江支援学校の生徒	50名程度（校区全体）	住之江特別支援学校及び校区(3区)が合同で日中系事業所説明会を実施し生徒の進路に役立ててもらう
		② 出前講座	イベント	5/15 10/9	住之江支援学校の生徒	50名程度（校区全体）	卒業後の進路について、作業やレクレーションを体験することで、具体的なイメージを持ってもらう

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あた	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
AKS（あべのんキッズサポーターズ）部会（障がい児部会）	定例会議	6回	区基幹相談支援センター、区内障がい児通所事業所、区内障がい児相談支援事業所	31～39	・事業所間の情報共有　・スキルアップのための研修の開催や事例検討会の開催 ・教育機関との連携強化、地域イベントへの参加	事業所間の情報共有、スキルアップのための研修の開催や事例検討会の開催、・教育機関との連携強化、地域イベントへの参加を引き続き行う。

		名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	① AKS部会研修会	研修会	6/11、3/17	相談支援事業所、日中系事業所、障がい児通所事業所、区民	31-32名	「大人になっていく子どもたち～こころとからだの主人公に～」 「みんなで育つ研修会～カラダの発達と運動遊び～」
		② 児・相　交流会	研修会	10月14日	相談支援事業所、障がい児通所事業所	47名	ワールドカフェ形式の交流会

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
日中どこいこ？見つけるフェスタ	イベント	6月14日	区民、日中活動系事業所、障がい児通所事業所、相談支援事業所	26事業所 来場者50名	事業所による個別ブースでの説明会	引き続き実施。周知方法の再検討が必要。
防災ワーキンググループ	その他	複数回	阿倍野区地域自立支援協議会、居宅介護支援事業者連絡会、訪問看護ステーション連絡会、社会福祉施設連絡会、阿倍野区医師会	10～17名	防災にかかる各団体の取組、地域の取組、区防災担当の取組の情報共有、5団体協働で今後の取組み内容の検討	引き続き検討を深める。研修の実施等を見据える。
第1回事業所連絡会	研修会	7月24日	区内障がい福祉サービス事業所	40名	Discordの使い方講座	引き続き、事業所の顔の見える関係づくり、支援者のスキルアップにつながる内容をテーマに実施する。
第2回事業所連絡会	研修会	12月19日	区内障がい福祉サービス事業所	29名	「仕事へのモチベーションは保てているかな？「一人で考えずしっかりとコミュニケーションをとろう～」	引き続き、事業所の顔の見える関係づくり、支援者のスキルアップにつながる内容をテーマに実施する。
主催研修	研修会	2月17日	区民、区内障がい福祉サービス事業所	43名	「なんだかずっと生きづらいなぁと感じているあなたへ」	引き続き障がいの理解啓発つながる内容をテーマに実施する。
障がい者週間による啓発	その他	11月28日～12月12日	区民	-	障がいへの理解を深める内容を区役所ギャラリーに展示	引き続き実施。周知方法、アンケート方法の検討が必要。
障がい高齢訪看合同研修	研修会	11月13日	区職員、高齢、訪看ST、区内障がい福祉サービス事業所	26名 （障がいのみ）	気づきのアンテナの感度を高める研修会　第3弾	引き続き、つながる場と高齢、訪看STと共催で実施する。

E　個別事例の検討状況

実施回数	0回	検討対象ケース数		参加事業者・機関数		抽出された地域課題	
取組状況							

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

住之江 区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		住之江区地域自立支援協議会　全体会	開催回数・頻度	１回　　（1年に１回）	参加者数（１回あたり）	２８名
参画機関	障がい福祉関係	区障がい者基幹相談支援センター、ライフサポート協会、デーセンターいるか、ライフケアシヴァ、けあ工房夢いろ、アイクル相談支援センター、S＆A相談支援センター、タイガースケアプランセンター、パレット、ほほえみ、ひまわり、	障がい当事者等	特定非営利活動法人自立生活夢宙センター	高齢福祉関係	加賀屋・粉浜地域包括支援センター
	子育て・教育関係	み・らいず相談支援センター、ひかり、大阪市立敷津浦学園、住之江支援学校、新北島小学校、真住中学校	就労関係	びあどりーむ相談支援センター、 南西部地域就業・生活支援センター	保健・医療関係	南大阪病院
	地域団体・住民関係	身体障がい者相談員、知的障がい者相談員、安立地区民生委員協議会、新北島地域あったかネットコーディネーター	その他	区社会福祉協議会、区保健福祉センター		
検討課題・検討概要、取組内容		・今年度部会活動報告について ・来年度の体制及び取組について ・その他				
今後の課題や取組の方向性		事業所・行政・当事者の連携を強化し、障がい者、子ども、高齢者など複雑化する課題に早期に対応していく。				

B　運営会議等

名称	運営幹事会	開催回数・頻度	6 回　　（　　2 か月に 1 回）	参加者数（１回あたり）	約12名
参加者	代表、副代表、各部会担当者、事務局				
機能・役割、取組内容	・各部会、連絡会開催の報告と状況の確認 ・自立支援協議会全体の取組みについて協議				

C　部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
精神保健福祉ネットワーク部会	定例会議	１２回	自立生活夢宙センター、住之江区障がい者基幹相談支援センター、こころの相談ネットふうが、ライフケアシヴァ、住之江区居宅介護支援事業所連絡会、加賀屋・粉浜地域包括支援センター、ほっとナビ訪問看護ステーション、訪問看護ステーションデューン南大阪、大人と子供の相談支援なるの実、Itol訪問看護ステーション、区社会福祉協議会、区保健福祉センター	約15名	事例検討・情報提供・勉強会	精神科医療機関は増えつつあるが、加療が必要と思われる方の中には医療拒否があり、必要な医療につながっていない方もある。引きこもりの長期化、高齢化から引きおこる8050問題もあり、対象者のみならず世帯課題は複雑化、深刻化している。課題解決のためには多職種連携は必須である。連携のためのネットワーク構築の仕組みづくりの情報共有が必要ではないか。

		名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	① 勉強会	研修会	6月27日	精神障害に関わる支援者	１６名	アルコール関連問題を学び必要な支援につなぐ
		② 勉強会	研修会	8月22日	精神障害に関わる支援者	１０名	働いている精神当事者の話を聞こう
		③ 勉強会	研修会	11月28日	精神障害に関わる支援者	１７名	カスタマーハラスメントについて
		④ 勉強会	研修会	2月27日	精神障害に関わる支援者	３０名	障がい者虐待の定義と理解

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
就労支援部会（R8年度より「日中活動部会」に名称変更）	定例会議	0回	ぴあどりーむ相談支援センター、南西部地域障がい者就業・生活支援センター		日中活動ガイドブックの更新、事業所説明会の開催等	日中活動ガイドブックの更新や、支援学校合同説明会を開催し、支援学校保護者や当事者、支援者に日中活動についての周知を行っていく。また、令和8年度より就労支援部会から日中活動部会に名称を変更する。

		名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	① 支援学校事業所合同説明会	イベント	7月4日	東住吉支援学校の保護者	住之江区3事業所	事業所の説明会
		② 支援学校事業所合同説明会	イベント	7月5日	住之江支援学校の保護者	住之江区16事業所	事業所の説明会

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援部会		12回	区障がい者基幹相談支援センター、区保健福祉センター、区社会福祉協議会、他住之江区地域に係る支援者	約25名	事例検討・情報提供・勉強会等	住之江区地域に係る支援者等で情報交換やイベント告知、事例検討等を行っていく。適宜勉強会・研修会も開催。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 障がい者・高齢者・こどもの何でも相談会	相談会	毎月	だれでも	1～2名	まだ地域で福祉サービスや社会資源に繋がっていない方に向け、ワンストップで相談を受け付けられるようにする
		② 高次脳機能障がい研修会	研修会	9月22日	住之江区地域に係る支援者等	38名	講師：大阪市中南部圏域高次脳機能障がい包括ケアネットワーク
		③ 精神科病院からの地域移行について	研修会	1月9日	住之江区地域に係る支援者等	39名	講師：こころの相談ネットふうが （相談支援事業所連絡会と共催）

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援事業所連絡会		12回	区障がい者基幹相談支援センター、区保健福祉センター、区内障がい者相談支援事業所、区内障がい児相談支援事業所	約25名	事例検討・情報提供・勉強会等	区内の相談支援事業者同士が横の繋がりを構築し、区保健福祉センターとの連携も充実させ、地域の障がい福祉サービスの質の向上を目指す。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 自立生活センターについて	研修会	6月13日	区内障がい者相談支援事業所、区内障がい児相談支援事業所	26名	講師：自立生活夢宙センター
		② 就労選択支援について	研修会	10月10日	区内障がい者相談支援事業所、区内障がい児相談支援事業所	26名	講師：住之江区役所保健福祉課（福祉）
		③ 良いケースワークってなんだろう	研修会	11月14日	区内障がい者相談支援事業所、区内障がい児相談支援事業所	27名	講師：ディーエンカレッジ大手前キャンパス
		④ 感染症対策について	研修会	12月12日	区内障がい者相談支援事業所、区内障がい児相談支援事業所	30名	講師：住之江区役所保健福祉課（健康支援）
		⑤ 精神科病院からの地域移行について	研修会	1月9日	住之江区地域に係る支援者等	39名	講師：こころの相談ネットふうが （相談支援部会と共催）
		⑥ 福祉サービスの基本について	研修会	2月13日	区内障がい者相談支援事業所、区内障がい児相談支援事業所	27名	住之江区役所保健福祉課（福祉）
		⑦ 障がい者の権利擁護について	研修会	3月13日	区内障がい者相談支援事業所、区内障がい児相談支援事業所	25名	講師：自立生活夢宙センター

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
子ども部会	定例会議	6回	障がい福祉サービス事業所、子育てプラザ、新北島小学校、区基幹相談支援センター、区保健福祉センター	約20名	事例検討・情報提供・交流会	・事例検討の積み重ね ・地域で福祉、教育、保健医療が協力できるための取り組み ・「大阪市子どもの見守り強化事業」の活用方法の検討

催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	① R7年度区内子ども支援・教育機関の事業紹介	その他	5月28日	支援者	52名	参加機関の紹介、名刺交換会等
	② こども包括支援ネットワーク事業	事例検討	毎月	子どもに係る支援者等		地域のネットワーク構築
	③ 住之江区子育て応援イベント	イベント	11月8日	子育て世帯の親子、子育てを応援している人	多数	住之江区内で子育てを応援している各地域の子育てサロン、子育てに関係する団体・NPO・ボランティアグループが開催する、親子で楽しめるイベント

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
当事者部会	定例会議	6回	メリーゴーランド、自立生活夢宙センター、区社会福祉協議会、地域あったかネット（住之江・新北島・清江）、グルメ杵屋社会貢献の家、南大阪病院、大阪医療福祉専門学校	約11名	地域のコミュニティづくりの継続、自然災害等の緊急事態への備え、等	色々な企画を準備し、当事者一人ひとりが主体的に取り組みながら、部会の活動をさらに活性化させていきたい。

催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	モルックでの交流	イベント	12月9日	学生、障がい当事者	35名	障がい当事者と一緒にモルックを楽しむ

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
いきがい部会	定例会議	3回	いるか、ひまわり、住之江公園、区社会福祉協議会、区障がい事業所連絡会等		住之江公園の自然啓発活動等、町づくり活動	住之江公園の自然啓発活動および大切な人と共に暮らす地域連帯を目的とし、まちづくり活動を展開する。

催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	すみのえハートスタジアム	イベント	5月24日	だれでも		R7年度は雨天のため中止

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
障がい関係事業所連絡会	定例会議	0回	ほほえみ、いるか	0	令和7年度は開催なし	いきがい部会と連携し、事業所間の連携強化・区の障がい福祉の充実と支援の質の向上を目指す。

催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性

E　個別事例の検討状況

実施回数		検討対象ケース数		参加事業者・機関数		抽出された地域課題	
取組状況							

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

住吉区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		総会	開催回数・頻度	1回　　（年に１回）	参加者数（１回あたり）	15名
参画機関	障がい福祉関係	住吉区障がい者基幹相談支援センター・地域活動支援センター生活支援型・障がい福祉事業所を運営する団体	障がい当事者等	住吉区身体障害者団体協議会	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係		就労関係	ハローワーク阿倍野・南西部就業・生活支援センター	保健・医療関係	
	地域団体・住民関係		その他	住吉区社会福祉協議会・住吉区役所		
検討課題・検討概要、取組内容		2024年度活動総括及び2025年度活動方針（各部会の取り組み報告と、次年度活動方針）・2024年度収支報告・2025年度予算・基幹相談支援センターの評価、				
今後の課題や取組の方向性		2024年度報酬改定の影響を含め、各部会からあがってくる課題についてとりまとめて当協議会で議論、必要に応じて市自立支援協議会へ提言する。				

B　運営会議等

名称	事務局会議	開催回数・頻度	12回　　（月に１回）	参加者数（１回あたり）	12名
参加者	住吉区障がい者基幹相談支援センター・地域活動支援センター生活支援型・障がい福祉事業所を運営する団体・住吉区社会福祉協議会・住吉区役所				
機能・役割、取組内容	区自立支援協議会の中核的な機能。毎月開催している「障がい者なんでも相談」の報告、事例検討会、各部会の報告、刊行物の検討、各課題についての対応や方針の確認。				

C　部会

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援部会		10回	相談支援事業所・見守り相談室	約30名	制度情報提供、グループワーク、ミニ研修会、意見交換等	相談支援専門員に有効なスキルアップ研修の実施、参加が少ない（難しい）事業所へのアプローチの検討。

催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	①　フォローアップ研修	研修会	11月20日	指定相談支援事業所	30名	「自閉症者の理解と家族心理について」講師：アンシャンテ住吉　中田貴久男氏
	②　ミニ研修	研修会	3月18日	指定相談支援事業所	41名	「住吉区の防災取り組みについて」講師：住吉区役所地域課　東森慶子氏

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
日中活動支援部会		5回	生活介護・就労系事業所	約20名	事業所見学、事業所間での取り組み共有、研修会、意見交換等	生活介護と就労系事業所の参加があり、それぞれのニーズも異なることから部会内容の検討が必要。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 祭りイベント	イベント	10月11日	地域住民・地域の福祉事業所	約60名	つながる祭り：地域向けに日中事業所が集まって出店やイベントを行う。
		② フォローアップ研修	研修会	3月11日	生活介護・就労系事業所	17名	「行動障害等、支援が難しい方への支援」当事者理解と対応についての心構え～支援者がバーンアウトしない為に～　講師：アンシャンテ中田貴久男氏

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
グループホーム部会		5回	共同生活援助事業所	10名	各事業所での取り組み、課題等についての情報交換	参加しやすい開催時間や方法の検討、継続的な関係構築等の課題があり、今後は参加しやすい設計、つながりの強化、現場起点の連携促進等をしていく。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
精神ネットワーク部会		3回	相談支援事業所、訪問看護等、精神保健にかかる事業所	20名	グループワーク、研修会、事例検討会	福祉・保健・医療の多職種連携の機会の確保と、地域の各課題などに対して、共生社会の実現、誰もが暮らしやすい地域社会づくりのための取り組みや研鑽を重ねていきたい。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 事例検討会	事例検討	12月10日	相談支援事業所、訪問看護事業所、区役所等	約15名	触法障がい者の支援
		② 協議会研修会	研修会	2月13日	障がい福祉事業所、訪問看護事業所、高齢事業所等	約35名	安心して医療ケアを受けるために「声をきく」・「扉をひらく」・「社会をかえる」～大阪精神医療人権センターの活動から～　講師：有我　譲慶さん

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
こども部会	定例会議	12回	放課後等デイサービス事業所・相談支援事業所	30名	グループワーク、意見交換	引き続きすみすみ（住吉・住之江）

	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
催事等	① 家族向け研修会	研修会	8月3日	こども	約50名	地域で広がる性生教育～「わたし」研究編～ 講師：小西 理恵さん　（一般社団法人 輝き製作所 所長）
	② 家族向け研修会	研修会	5月11日	こどもを持つ親御さん	約50名	地域で広がる性生教育 講師：小西 理恵さん　（一般社団法人 輝き製作所 所長）

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
協議会研修会	研修会	6/7,9/13,11/17,2/14	福祉事業所、医療関係、区民等	各40名程度	区民向けの研修会を年4回実施。6月ひきこもり研修、9月意思決定支援、11月就労選択支援、2月精神保健に関する研修。	今後も地域向け、事業所向けの研修会を実施。幅広い分野のところにも呼び掛ける。
なんでも相談	相談会	毎月第4水曜日 11-14	区民	2-5名	障がいのある本人、家族のことについて、福祉サービス利用等も含めた相談会。	事務局団体で相談対応をしているので、次年度より一部指定相談支援事業所にも協力を仰ぐ。
刊行物	その他		区民		福祉サービスハンドブックの作成	障がいのある人に有用な内容のものを今後も検討していく必要があるが、冊子等は見ない人が増えており、デジタル化も必要。
事例検討会	事例検討	9/10,10/8,12/10,3/11	相談支援、生活介護、訪問看護、見守り相談室、区役所	各15名	事例の検討とそれに関してＳＶからの助言。	次年度よりＳＶの先生が参加が難しくなり、相談支援研修センターのＳＶ機能を使って開催予定。

E　個別事例の検討状況

実施回数	4回	検討対象ケース数	4件	参加事業者・機関数	各回6機関程度	抽出された地域課題	課題抽出までには至っていない。
取組状況	地域自立支援協議会の個別会議としてつながる場としての実施も含めている。						

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

東住吉　区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		地域自立支援協議会本会議	開催回数・頻度	3回　（４か月に１回）	参加者数（１回あたり）	２０名
参画機関	障がい福祉関係	障がい者基幹相談支援センター/地域活動支援センター/障がい福祉事業所/障がい関連施設	障がい当事者等	大阪手をつなぐ育成会東住吉区支部/東住吉区身体障がい者団体協議会	高齢福祉関係	―
	子育て・教育関係	府立東住吉支援学校	就労関係	南部地域障がい者就業・生活支援センター	保健・医療関係	東住吉区保健福祉課/保護課
	地域団体・住民関係	―	その他	区社会福祉協議会		
検討課題・検討概要、取組内容		＜第１回＞R7.7.8：委員の変更/R6年事業報告/R7年事業計画/R8予算（案）/基幹相談支援センター運営評価/地域福祉推進会議結果報告　他 ＜第２回＞R7.11.19：各部会活動報告/区民フェスティバル参加報告/全体会（講演会）　他 ＜第３回＞R8.2.10：各部会活動報告/全体会報告/地域福祉推進会議で提出予定の課題について協議/地域自立支援協議会（法定会議）個別事例の検討状況　他 ＜取組内容＞地域課題の検討/各部会活動報告/全体会（講演会）「誰もが働きがいを持てる、働きやすい職場づくりをめざして～障がい者雇用を通じて見えてきた取組みのヒント～」/「障がいのある方たちの事業所マップ」/「障害児支援施設事業所情報集」/東住吉区民フェスティバル				
今後の課題や取組の方向性		引き続き、区内関係機関と連携しながらネットワークの構築を進めるとともに、地域の社会資源の活用及び改善を検討していく				

B　運営会議等

名称	事務局会議	開催回数・頻度	12回　（１か月に１回）	参加者数（１回あたり）	9～11名
参加者	障がい者基幹相談支援センター/地域活動支援センターもくれん/てぃんがーら/福祉ネット大和川/南部地域障がい者就業・生活支援センター/東住吉区社会福祉協議会/東住吉区保健福祉課				
機能・役割、取組内容	＜機能・取組内容＞協議会活動の進捗管理/地域課題の精査/地域生活支援拠点等登録申請にかかる説明会の開催・同意通知　他 ＜取組の方向性＞個別事例について、地域課題としてどのように整理していくか検討する				

C　部会

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援部会		毎月第1、2、4月曜日（計24回）～R8.1.26	相談支援事業所	30～50名程度	相談支援専門員のスキルアップに向けた関係制度の勉強会、学習会、グループスーパービジョンの実施/スプレッドシート、ラインを活用した情報共有/行政からの情報共有/現任研修インターバル	＜課題＞ 相談支援事業所の不足/関係各所との連携不足/障がい別、状況別の専門的な対応が必要/業務が多岐に渡っている/社会資源の不足

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
		① 相談支援部会学習会	研修会	4月7日	相談支援事業所	29名	テーマ:「就労系サービスについて」 講師：基幹相談支援センター/平沼遊
		② 相談支援部会学習会	研修会	5月12日	相談支援事業所	38名	テーマ:「障がい福祉サービスの基礎（就労系サービス）」 講師：基幹相談支援センター/平沼遊
		③ 相談支援部会学習会	研修会	6月2日	相談支援事業所	31名	テーマ:「相談支援員の困りごと」 講師：基幹相談支援センター/平沼遊
		④ 相談支援部会学習会	研修会	7月7日	相談支援事業所	36名	テーマ:「居宅介護・重度訪問介護について」 講師：基幹相談支援センター/平沼遊
		⑤ 相談支援部会学習会	研修会	9月1日	相談支援事業所	40名	テーマ:「精神科訪問看護～利用方法と期待される役割～」 講師：訪問看護ステーションみのり/岡本史彦
		⑥ 相談支援部会学習会	研修会	10月6日	相談支援事業所	54名	テーマ:「地域移行支援」 講師：地域活動支援センターもくれん/柿木・黒川
		⑦ 相談支援部会学習会	研修会	11月4日	相談支援事業所	31名	テーマ:「就労選択支援」 講師：南部就業・生活支援センター/泉原
		⑧ 相談支援部会学習会	研修会	12月1日	相談支援事業所	33名	テーマ:「グループワーク」 講師：基幹相談支援センター/平沼遊
		⑨ 相談支援部会学習会	研修会	1月5日	相談支援事業所	40名	テーマ:「就労選択支援」 講師：てぃんがーら　森
		⑩ 相談支援部会学習会	研修会	2月2日	相談支援事業所	30名	テーマ:「グループワーク・セルフチェック」 講師：基幹相談支援センター/平沼遊
		⑪ 相談支援部会学習会	研修会	3月2日	相談支援事業所	29名	テーマ:「自立支援協議会について」 講師：基幹相談支援センター/平沼遊

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
子ども部会	定例会議	7回	障がい児通所事業所	10名程度	事業所見学会、学習会の実施/事業所情報集の作成	＜課題＞ 学校の参加の拡大/地域での連携不足/医療ケアの必要な子どものための施設(特に短期入所）が足りない/在宅している（不登校の）障がい児への支援が乏しい/児童の相談支援事業所が足りない/学校での障がい児に対する人員が足りない/支援が届いていない障がい児がいる

催事等		名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	①	「東住吉区障害児支援施設事業所情報集2025年度版」作成	その他	6月	保護者/関係者	約500部 82事業所	障害児相談支援事業所9/児童発達支援センター2/児童発達支援8/児童発達支援・放課後等デイサービス46/放課後等デイサービス10/重症心身型児童発達支援、放課後等デイサービス7
	②	第1回　障がい児通所事業所見学会	研修会	6月9日	障がい児通所事業所/保育所/幼稚園/小中学校/支援学校他	45名	児童発達支援2事業所
	③	第1回　子ども部会学習会	研修会	9月9日	障がい児通所事業所/保育所/幼稚園/小中学校/支援学校他	41名	テーマ:「子どもの権利を大切にする暮らし～子どもの権利条約を学びあうことから～」 講師:桃山学院大学/金澤ますみ
	④	第2回　障がい児通所事業所見学会	研修会	10月24日	障がい児通所事業所/保育所/幼稚園/小中学校/支援学校他	40名	児童発達支援・放課後等デイサービス（重度心身含む）3事業所を見学
	⑤	第2回　子ども部会学習会	研修会	11月27日	障がい児通所事業所/保育所/幼稚園/小中学校/支援学校他	36名	テーマ:「不登校支援の最前線」 講師:児童発達支援・放課後等デイサービスなら/松下祥貴

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
日中活動系連絡会	定例会議	4回	日中活動系事業所	5～8名程度	事業所説明会、研修会等の実施	＜課題＞ 運営委員の輪番制/新規参入雄の検討/支援員のスキルアップ

催事等		名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	①	府立東住吉支援学校通所事業所説明会	その他	7月18日	日中活動系事業所/在校生/保護者/学校関係者	27事業所	日中活動系事業所説明会 ＜東住吉区27事業所＞
	②	「東住吉区民フェスティバル」ブース出展	イベント	10月19日	日中活動系事業所/区民フェスティバル来場者	16事業所 328枚	日中活動事業所写真展、各事業所の栞作製、配布
	②	日中活動系連絡会新人研修会	研修会	2月20日	日中活動系事業所	15～30名	事業所間交流、意見交換、グループワーク

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
居住系事業所連絡会		2回	グループホーム、ショートステイ事業所	4名程度	見学会、研修会の実施	＜課題＞ ・障がい者に情報が届いていない/地域連携が足りない/社会資源を増やしていく仕組みづくりが必要

	催事等		名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
居住系事業所連絡会		①	第１回　居住系事業所連絡会	研修会	7月23日	グループホーム、ショートステイ事業所	39名	テーマ:「地域連携推進会議」
		②	第２回　居住系事業所連絡会	研修会	12月3日	グループホーム、ショートステイ事業所	19名	テーマ:「実際に利用者支援に役立つBCPを能登半島地震の支援から考える」 講師：草の根共生会/和泉直貴
		③	第３回　居住系事業所連絡会	研修会	3月4日	グループホーム、ショートステイ事業所	32名	テーマ：「グループホーム同士の交流　等」

名称	定例会議	開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
当事者部会		1回	区内事業所	4名程度	研修会の実施	＜課題＞ 研修テーマによって参加対象拡大を検討

	催事等		名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
当事者部会		①	災害時避難所見学会	研修会	8月22日	当事者部会、防災担当等	6名	災害時避難所（東田辺小学校）を見学し、備蓄倉庫・備蓄物等を確認し、区防災担当職員と質疑応答を行う
		②	第1回　障がい当事者部会	研修会	10月24日	日中活動に通う障がい当事者/障がい福祉事業所	23名	テーマ：「障がい当事者によるミニ講演会と参加者同士の座談会」 講師:NPO法人おおさかひがし/北岡賢治

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
事例検討会	研修会	①6月19日 ②11月11日 ③2月24日	障がい福祉事業所	①94名 ②96名 ③64名	・複数の相談支援事業所（機能強化型）でケースを選定し事業所間交流の時間、ファシリテーション実施 ①本人の生きがいを見つける支援とは<生きる意味がわからないと言われるが> ②当事者の自己決定と支援の在り方について ③共依存からそれぞれが安定した生活を送るために	【取組の方向性】 ・参加者の継続、ネットワーク構築に向け定期的に開催していく ・開催の目的、趣旨を明確にしていく
その他	イベント	10月19日	「2025東住吉区民フェスティバル」ブース出展	①2件 ②16事業所 ③554名 ④328枚	①障がい者・児福祉相談支援コーナー ②日中活動事業所施設写真展 ③アルコールパッチテスト ④日中活動事業所作成菜の配布	【取組の方向性】 地域自立支援協議会ならではのブース出展となるような工夫を凝らす

全体会	研修会	12月23日	各部会委員/障がい福祉事業所/障がい当事者/家族/区民	45名	講演会：「誰もが働きがいを持てる、働きやすい職場づくりをめざして～障がい者雇用を通じて見えてきた取組みのヒント～」 講師：奥進システム/奥脇学	【取組の方向性】 引き続き、参加者の障がいへの理解を深めていく講演テーマを選定する
地域自立支援協議会 （法定会議）	事例検討	①5月2日 ②6月16日 ③3月19日 ④3月23日	障がい福祉事業所/その他関係機関　等	4回 計28機関	・支援困難事例（個別事例）等の検討	【取組の方向性】 引き続き、「地域自立支援協議会」の活用によって関係機関の連携を図り、適切な支援につなげていく
その他	その他	１月下旬	「令和7年度版 障がいのある方たちの事業所マップ」作成	作成数 1,200部 事業所数 261	・利用者、相談者の案内に活用 ・区HPに掲載	【取組の方向性】 掲載を希望する事業所が年々増加しており、見やすさを工夫していく

E　個別事例の検討状況

実施回数	4回	検討対象ケース数	4件	参加事業者・機関数	計28機関	抽出された地域課題	-
取組状況	引き続き、「地域自立支援協議会」の活用によって関係機関の連携を図り、適切な支援につなげていく						

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

平野 区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		運営委員会	開催回数・頻度	６回　　（２ケ月に１回）	参加者数（１回あたり）	２０名程度
参画機関	障がい福祉関係	区内の障がい福祉事業所 平野区障がい者基幹相談支援センター 地域活動支援センターもくれん	障がい当事者等	区内の障がい当事者	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係		就労関係	南部地域障がい者就業・生活支援センター	保健・医療関係	
	地域団体・住民関係		その他			
検討課題・検討概要、取組内容		困難事例の相談・協議、地域の社会資源の開発のための提言と活用及び改善の検討、地域の関係機関の連携の推進、ネットワークの構築、専門部会の活動への支援、相談支援及び障がい福祉サービス提供体制の充実に必要とされる事項の検討等				
今後の課題や取組の方向性		障がい者の重度化・高齢化については、引き続き8050問題など親亡き後の生活を見据えた地域生活支援拠点等の整備が課題となっています。その他、「18歳移行時の課題」「重度障がい者への支援」等さまざまな地域課題を個別事例から把握できるよう、あらたな専門部会の設置検討や、総合的な支援体制の充実事業との連携により、様々な検討会議を有機的に連動させ、障がいのある人の生活を地域全体で支える体制づくりが求められています。				

B　運営会議等

名称	運営委員会（上記と同会議）	開催回数・頻度	６回　　（２ケ月に１回）	参加者数（１回あたり）	２０名程度
参加者	区内の障がい福祉事業所、平野区障がい者基幹相談支援センター、地域活動支援センターもくれん、障がい当事者、平野区社会福祉協議会、南部地域障がい職業生活支援センター			
機能・役割、取組内容	各部会からの活動報告、各部会の懸案事項の協議、個別事例の検討会の開催、委託相談支援事業者の運営評価、地域生活支援拠点等の登録審議、障がい者週間における障がい理解促進のPR活動、各種会議の参加報告、各部会の役員承認など			

C　部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談事業部会 研修部会	定例会議	１２回	平野区障がい者基幹相談支援センター 区内相談支援事業所他	２５名程度	各事業所間との情報共有、活動報告、区行政機関等との連携体制 個別事例検討など	各相談支援事業、近隣区の協議会と連携強化を図り、部会の充実をと活性化を図る。 他部会と連携した研修の開催

		名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	相談支援従事者フォローアップ研修	研修会	3月12日	区内相談支援事業所の所属する相談支援専門員	５０人程度	業務におけるスキルアップを目指す。 講師：一般社団法人ふせ支援ネットワークまちかど相談所　代表　前川敦

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
日中部会	定例会議	5回	区内の日中活動系事業所他	１５名程度	東住吉支援学校の事業所説明会、事業所に関するアンケート調査 身近な障がい福祉サービス制度説明会	定例会議の開催増、 各事業所間の連携強化 他部会と連携し、部会の活性化を図る。

		名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等						

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
居宅事業部会	定例会議	4回	区内の居宅事業サービス事業所他	４０名程度	事業者間交流会（意見交換）、諸課題の共有・解決に向けた取組みなど	事業所と地域の関係機関との協力体制の構築

		名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	① 自立訓練（生活訓練）事業所の取り組みと役割	研修会	11月26日	区内の居宅事業サービス事業所の管理者等	２０名程度	講師：エンラボカレッジなんば サービス管理提供者　諫山祐一　外２名
		② AIツール体験講習会	研修会	3月17日	区内の居宅事業サービス事業所の管理者等	３０分程度	講師：NPO法人タダカヨ 吉崎ちほ、吉岡政明

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
当事者部会	定例会議	１２回	区内の障がい当事者	８名程度	障がい当事者の意見交換、障がい理解を深めるための認知活動	障がい当時者の声を広く発信するとともに障がい理解を深めていただく取組みを強化する。

		名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	障がい者週間「障がい理解アート展示」	イベント	12月3日～ 12月9日	区民	―	障がい週間に区役所１階にブースを設け、手帳やヘルプマークなどのアート作品による啓発活動

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
区政会議	その他	年４回	区政会議委員	-	委員である協議会会長の出席により、適宜、地域での障がい者との関わりや課題についての意見交換	継続実施
東住吉特別支援学校通所事業所説明会	イベント	７月	各事業所	２０名程度	各事業所の特性などを学校や保護者への説明を実施	継続実施

E　個別事例の検討状況

実施回数	3回	検討対象ケース数	2件	参加事業者・機関数	つながる場と共催	抽出された地域課題	複合世帯の支援における情報共有の場の確保 外国人に対する通訳が出来る支援者の確保
取組状況	個別事例の検討会の開催に際しては、相談事業部会と運営委員会、つながる場との位置づけや関係性を考慮しつつ、個別支援から発信された課題に対する取り組みが行われるよう、関係機関等の協力等を求めるなど、相談支援体制の整備が進むよう努めている。						

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。

令和７年度　各区地域自立支援協議会活動報告

西成区地域自立支援協議会

A　協議会本会議

名称		西成区障がい者自立生活支援調整協議会	開催回数・頻度	年１回　　（７月に１回）	参加者数（１回あたり）	２５名程度
参画機関	障がい福祉関係	福祉局、区基幹相談支援センター、障がい者施設、地活センター（生活支援型）、就労系事業所、生活介護事業所　等	障がい当事者等	身体障害者団体協議会	高齢福祉関係	
	子育て・教育関係	中央子ども相談センター、教育委員会、小学校、保育所	就労関係	職業安定所	保健・医療関係	こころの健康センター、区医師会、病院
	地域団体・住民関係	人権協会	その他			
検討課題・検討概要、取組内容		・区障がい者自立生活支援調整協議会委員長の選任・職務代理者の指名 ・令和６年度活動報告（活動状況報告、課題・制度的問題まとめ）、区相談支援センターの運営評価 ・令和７年度活動計画 ・地域福祉推進会議推進チームへの障がい者自立生活支援調整協議会からの代表出席について				
今後の課題や取組の方向性		早めに案内を行い、当日の出席委員数を増やし、活発な議論ができるように図っていく。				

B　運営会議等

名称	運営委員会	開催回数・頻度	毎月	参加者数（１回あたり）	約１５名
参加者	各部会の代表者				
機能・役割、取組内容	専門部会開催状況の共有を行い、全体会（報告・研修）の運営について協議をし、また次年度以降の西成区障がい者自立生活支援調整協議会全体の運営方針について検討を行った。				

C　部会

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（１回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
専門部会全体会	定例会議	年２回程度	下記、専門部会参画機関	約40名	各専門部会からの報告会、全体研修会。	

催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
相談支援部会	定例会議	年10回	区基幹相談支援センター、区内相談支援事業所、地活センター（生活支援型）　等	約30名	相談員としてのスキルアップや知識獲得を目的としたミニ学習会および学習会の実施 グループワークを活用した情報共有や横のつながりづくり等連携の強化 障がい福祉サービス指定特定相談支援事業者の選定	グループワークは時間の節約やスムーズな進行を意図し、役割を分担し、積極的に取り組んでいきたい。 選定会議の仕方について、挙手制と併せてマッチングについて検討を要する。また、事業所決定後アセスメントの際に、障害福祉サービス申請時のニーズと異なる場合もあるため、柔軟に対応できるよう相談員の技量向上に務める。 ひとり相談支援事業所も多いため、相談支援専門員が悩みを抱え込んで孤立したり、疲弊してバーンアウトすることのないよう支え合う仕組み作りや、大阪市のSVバンク（SV相談）も活用していきたい。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
日中活動系事業所部会	定例会議	年6回	地活センター、障がい者施設、生活介護事業所、就労継続支援事業所、共同生活援助事業所、区基幹相談支援センター　等	約20名	施設見学を通じ、より良い質のサービスや利用者の場を確保 見える関係性（多職種連携） 制度面以外での連携	生活介護事業所がなかなか増えない、部会への参加を新規・未参加事業所に声をかけるが参加してくれるところ　が少ない、今後も引き続き参加の声をかけていく 実地指導対策勉強会・複数部会合同研修会・職員の交換研修（人材交流） 現参加事業所も引き続き参加しやすいよう曜日等の変更も視野に入れていく

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
就労系事業所部会	定例会議	毎月	就業・生活支援センター、職業安定所、地活センター、就労継続支援事業所、区基幹相談支援センター　等	約25名	部会に参加している事業所同士で情報共有などの交流を図る 事業所説明会などイベント開催を通して部会活動に活気を出す 研修を実施し、学びの場を提供する	部会に登録・参加している事業所の現状を把握し、共有することでより良い関係性を築き、就労系事業所部会参加の意義のあるものとする。 当事者、家族、地域の方々に福祉サービスについて知ってもらうための啓発イベントとして開催できるように、営業・営利目的にならない体制を整え、改めて計画を立てて開催する。

	催事等	名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
こども部会	定例会議	年4回	区内障がい児相談支援事業所、保育所、小学校、中学校、高校、人権協会、教育委員会、区基幹相談支援センター　等	約15名	相談支援、放デイなどの福祉事業所と小学校、中学校との情報交換について 進学、進級状況についての情報交換 不登校支援について	参加事業所が少ないので参加事業所を増やしていろいろな意見をもらう必要がある。 他の事業所や学校の取り組みを知る機会を増やす。

		名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等						

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
地域活動部会	定例会議	年6回	区社協、地活センター（生活支援型）、区基幹相談支援センター、障がい福祉事業所、当事者団体　等	約10名	あったかハートをつないで（周知啓発） 西成ポッチャカップ（事業所交流） 障がい当事者の防災について	コロナ禍以前の活動やあったかハートをつないでの目的や流れを知る部会員が減少したこともあり、十分に成果をあげることができなかった。 障がい福祉サービスに紐づかない部会として、当事者の参加や意見の反映ができればという意見がでた。 より当事者、事業所や地域へむけて情報発信をする仕組みは必要。

		名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等	第4回西成ポッチャカップ	イベント	R8.1.14	区内在住の障がい者	約60名	事業所対抗のボッチャ大会。区身協主催のスポーツ大会から有志の事業所主催のボッチャ大会へと遷移したもの。令和5年度より地域活動部会主導で開催している。

名称		開催回数	主な参画機関	参加者数（1回あたり）	主な議題、取組内容	今後の課題や取組の方向性
精神保健福祉連携部会	定例会議	毎月	地活センター（生活支援型）、区基幹相談支援センター、区精神保健福祉相談員、区内地域包括支援センター、オレンジチーム、つながる場担当者、地域体制整備CSW、訪問看護ステーション連絡会　等	約20名	地域課題の抽出を意識した事例検討の実施 研修会（講演会）の企画、開催 部会参加各機関の紹介	「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」の構築のため、医療等、さらに多分野の関係機関の参加の検討 障がいと高齢の連携の強化

		名称	種別	開催日	対象者	参加者数	内容（テーマ、講師、活動内容など）
	催事等						

D　その他の活動（他機関との共催を含む）

名称	種別	開催日	主な対象者	参加者数	主な活動内容	今後の課題や取組の方向性
あったかハートフェスティバル	イベント	11月16日	市民	約700名	地域で暮らす障がい者への理解を促すための啓発と交流を目的とした区事業への参画 ※令和４年度から区民まつりに統合	

E　個別事例の検討状況

実施回数		検討対象ケース数		参加事業者・機関数		抽出された地域課題	
取組状況							

F　備考

※活動計画からの変更点等、特記すべき事項がある場合は備考欄に記載してください。